

科目名	PC 入門			分類	専門	形態	演習	単位数	1	開講期	2 期
担当教員	藤原 敏嗣	企業連携	—	科略	IP	学年	1 年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	Illustrator・Photoshop を使用してのグラフィックデータの制作										
到達目標	デザインアプリケーション（Illustrator・Photoshop）の基本操作方法の習得										
	授業計画と内容										
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	オリエンテーション・環境設定										
10	Illustrator・Photoshop の基本操作										
11	↓										
12	↓										
13	↓										
14	↓										
15	前期テスト										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	20 %	50 %	30 %	0 %					
使用教材・教具	各自のコンピューター ※マウス必須										
履修時の注意	各自のラップトップを使用、マウス必須（ラップトップ・マウス・電源アダプター等は必ず持参すること）										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	プロダクトから WEB まで 15 年以上の国内外ブランドのデザイン経験								

科目名	色彩士検定 3 級			分類	基礎	形態	講義	単位数	1	開講期	前期	
担当教員	村木 威文		企業選持	—	科目	IP	学年	1 年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	テキスト「Color Master (Basic)」を用い、色について基礎知識を学習し、色彩士検定3級の受験申し込みから受験までを行う。											
到達目標	将来就くであろうデザイン業界の仕事の中でその必要性に応じ正確に「色彩」について理解することができる。											
	授業計画と内容											
1	オリエンテーション／色のなりたち①											
2	色のなりたち②											
3	混色①											
4	混色②											
5	色の表示方法①											
6	色の表示方法②											
7	色の知覚的効果①											
8	色の知覚的効果②											
9	色の心理的効果①											
10	色の心理的効果②											
11	色の心理的効果③											
12	色彩調和											
13	模擬試験											
14	筆記試験											
15	筆記試験の振り返り／まとめ											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0 %	0 %	0 %	40 %	50 %	10 %						
使用教材・教具	教科書：カラーマスター（Basic） その他：色彩士検定3級受験の対策問題集 Vol.4											
履修者の注意	色彩士検定3級受験は、卒業時までには必須。検定対策の講義授業のため出席率及び普段の授業態度を重視する。											
実験・実習のある教員による授業科目	○	実務経験概要	企業依頼のデザイン制作において、色彩計画を展開した実績で授業を行う。（色彩士検定1級取得者）									

科目名	修学基礎			分類	知識・教養	形態	講義	単位数	1	開講期	前期
担当教員	花田 洋通	企業連携	—	科略	IP	学生	1 年	コア第	1	曜日	月
授業内容	自己理解・他者理解を行い、学校生活での目標設定を定めていく。										
到達目標	学生便覧の見方、読み方を知り、システムやルールを理解する。自己理解、他者理解の方法を体験する。										
	授業計画と内容										
1	1 年生研修										
2	社会人基礎力 自己評価チェックシート										
3	1 年間の目標 前期の目標 行動計画シート										
4	キャリア教育について 進路・就職支援について 学生便覧の活用法										
5	未来ノート 自己理解										
6	未来ノート 自己理解										
7	未来ノート 自己理解 心の 4 つの窓										
8	未来ノート 自己理解 心の 4 つの窓										
9	未来ノート 過去を振り返ろう										
10	仕事理解										
11	ビジネス能力検定 3 級 検定対策講義										
12	ビジネス能力検定 3 級 検定対策講義										
13	ビジネス能力検定 3 級 検定対策講義										
14	ビジネス能力検定 3 級 検定対策講義										
15	ビジネス能力検定 3 級 検定対策講義										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	85 %	0 %	15 %	0 %					
使用教材・教具	未来ノート										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	図法			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	内田 里美		企業連携	科略	IP	学生	1年	コマ数	3	曜日	月
授業内容	製図道具として不可欠な三角スケールを使い。図面の作図演習・スケール感を結びつける。										
到達目標	頭で描いている作品を第三者に伝えられる様にする。イメージした立体を作図によって第三者に伝える事ができ、縮尺のある図面をスケールをもって描けるようになる。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明および製図道具の使い方について										
2	線の演習										
3	文字の演習										
4	正投影図の理解										
5	等角図・不等角図・キャビネット図・展開図の理解										
6	等角図の演習・立体図の作図										
7	不等角図の演習・展開図の作図										
8	三角スケールを使用した縮尺の理解										
9	寸法の記入について										
10	縮尺 1/100 での図面作成										
11	縮尺 1/50 での図面作成										
12	課題①										
13	課題②										
14	課題③										
15	課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	ノートパソコン										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。								

科目名	素材加工①			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	村上・愛	企業連携	—	材料	IP	半々	1 年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	加工方法の説明→デザイン・設計→作品制作→文章と口答でのプレゼンテーションを繰り返し行う。										
到達目標	樹脂板の切断・曲げ・研磨、スタイロフォームによる成形、木材の手工具による成形を素材の特性を活かして出来るようになる。										
	授業計画と内容										
1	1 年生研修										
2	課題Ⅰ - ①「アクリル板を使った置き時計の制作」										
3	Ⅰ - ② 切断、曲げ加工										
4	Ⅰ - ③ サンドブラスト加工、接着、研磨										
5	Ⅰ - ④ 断面磨き										
6	Ⅰ - ⑤ 仕上げ、器具取り付け、合評										
7	課題Ⅱ - ①「カッターナイフグリップの制作」										
8	Ⅱ - ② モックアップ制作（スタイロフォーム加工）										
9	Ⅱ - ③ モックアップ制作（スタイロフォーム加工）、図面										
10	Ⅱ - ④ 本制作（MDF 木材加工）、MDF 貼り合わせ										
11	Ⅱ - ⑤ 本制作（MDF 木材加工）										
12	Ⅱ - ⑥ 本制作（MDF 木材加工）										
13	Ⅱ - ⑦ 仕上げ、下塗り塗装										
14	Ⅱ - ⑧ 下塗り塗装、本塗装										
15	Ⅱ - ⑨ 組み立て、合評										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	作業を伴う授業内容です。安全に活動できる服装で臨むこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	素材加工②			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	姫路 侑真	企業連携	—	科略	IP	学年	1 年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	服飾雑貨を中心に基本的縫製技術を学ぶ。マスク、エプロン、バッグ、帽子を制作。布地の裁断、ミシン縫製、仕上げを行う。										
到達目標	基本的な布地の知識、扱いを習得。裁断、ミシン縫製を行うことにより、ミシンオペレーション能力を身につけることができる。										
	授業計画と内容										
1	1 年生研修										
2	オリエンテーション・ミシン練習										
3	マスク製図・裁断										
4	縫製・仕上げ										
5	エプロン—デザイン・パターン製図・生地裁断										
6	—縫製										
7	縫製										
8	仕上げ										
9	工具入れバック—パターン製図・生地裁断										
10	—縫製										
11	縫製										
12	仕上げ										
13	帽子—パターン製図・生地裁断										
14	縫製										
15	—仕上げ、作品提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ボトムメーカーにてカジュアルウェアのパターンや縫製に携わり企画として勤務								

科目名	素材加工③			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科目	IP	学年	1 年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	スタイロフォーム、バルサ材、スチレンボード等の素材を使ってインテリア模型を制作する。										
到達目標	イメージしたカタチ（空間）を短期間で組立てることができるようになる。										
	授業計画と内容										
1	1 年生研修										
2	課題①「スタイロフォームを使った幾何学形態」の制作										
3	課題②「スタイロフォームを使った球」の制作										
4	課題③「バルサ材使った椅子」の制作①										
5	「バルサ材使った椅子」の制作②										
6	課題④「スチレンボードを使ったマイルーム」の制作について										
7	平面図の検討										
8	インテリアエレメントの検討										
9	球技大会										
10	立面図の検討										
11	エクステリアの検討										
12	「スチレンボードを使ったマイルーム」の制作①										
13	「スチレンボードを使ったマイルーム」の制作②										
14	「スチレンボードを使ったマイルーム」の制作③										
15	プレゼンテーション→提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	20 %	60 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	・カッターナイフ、カッターマット、定規（金尺、三角スケール）等・その他、制作に必要な材料はこちらで準備します。										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	デザイン概論			分類	基礎	形態	講義	単位数	1	開講期	前期
担当教員	田頭愛理	企業連携	—	科属	IP	学年	1 年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	アイデアを形にするためのデザインの基本的考え方や手段を学ぶ。自身のめざしたいデザインの特徴や社会の関わり方を学ぶ。										
到達目標	制作の中でアイデアを形にするための考え方や情報収集などのプロセスを見つけることができる。										
	授業計画と内容										
1	新入生研修										
2	授業概要説明 デザインとは何か 芸術とデザインの違い										
3	デザイン思考の方法①										
4	デザイン思考の方法②										
5	デザイン思考のトリセツ①										
6	デザイン思考のトリセツ②										
7	デザイン思考のトリセツ③										
8	表現スキル①										
9	表現スキル②										
10	表現スキル③										
11	表現スキル④										
12	表現スキル⑤										
13	レポート制作										
14	レポート制作										
15	レポート制作										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	10 %	0 %	80 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具	・教科書／はじめてのデザイン思考 基本 Book& 実践 CARDS ・レジュメをまとめるファイル（A4 サイズ） ・筆記用具										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	デザイン会社でのグラフィックデザイン制作の経験を活かして授業を行う。								

科目名	ベーシックデザイン（クロッキー）			分類	基礎	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	大橋裕子	企業連携	—	科略	IP	学年	1年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	1回5～15分程度でクロッキーを重ねていく。対象物をよく観察し、重心・バランス・骨格等を捉えた表現について学ぶ。人物の場合は、相互モデルで行う。野外の場合は風景や植物を対象とする。										
到達目標	短時間で捉えた対象物のイメージを、生き生きとした線で表現できるようになる。										
	授業計画と内容										
1	クロッキーとは 鉛筆での表現について										
2	立ちポーズ 全身プロポーション										
3	立ちポーズ										
4	立ちポーズ アイテム										
5	立ちポーズ アイテム										
6	座りポーズ										
7	座りポーズ										
8	座りポーズ										
9	野外クロッキー										
10	野外クロッキー										
11	着彩クロッキー										
12	着彩クロッキー										
13	群像、複数人数										
14	群像、複数人数										
15	群像、複数人数										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	85%	0%	15%	0%					
使用教材・教具	クロッキー帳、鉛筆、カッターナイフ、水彩絵具										
履修場の注意	必要な画材を忘れずに持参すること。制作に丁寧に向き合うこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	作家活動のキャリアを活かし、イラスト制作に関する授業を行う。								

科目名	ベーシックデザイン（色彩）			分類	基礎	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	河本 恵美	企業連携	—	科略	IP	学年	1 年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	テキストを用いて各單元ごとに知識を身につけていくとともに一單元課題で理解を深める										
到達目標	色彩は検定3級合格レベルの基礎知識を習得し、手作業による完成度の高い作品を制作する										
	授業計画と内容										
1	1 年生研修										
2	自己紹介のための自由な色彩表現										
3	色の本質										
4	表色系										
5	色立体										
6	p.c.c.s トーン										
7	混色（加法混色と減法混色）										
8	色の視覚効果・視認性										
9	色名										
10	色の対比・同化										
11	色彩心理										
12	色出し										
13	配色調和										
14	配色調和										
15	配色調和										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	95 %	● %	5 %	● %					
使用教材・教員	アクリルガッシュ・配色カード・色鉛筆等・黒ペン（マッキー PIGMA 等）										
履修場の注意	課題の内容を文章で充分理解を深め、締め切りを守って作品を全て提出する										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要									

科目名	ベーシックデザイン（デッサン）Ⅰ			分類	基礎	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	花田 洋通	企業連携	—	科略	IP	学年	1	コマ数	2	曜日	木
授業内容	指定されたモチーフを鉛筆でデッサンする。										
到達目標	モチーフの構造を捉え、基本形態が正しく描けるようになる。										
	授業計画と内容										
1	1年生研修										
2	画材について・鉛筆濃淡によるグラデーション表現										
3	デッサン模写										
4	基本形態（立方体）										
5	基本形態（立方体）										
6	基本形態（円柱）										
7	基本形態（円柱）										
8	果物・野菜										
9	球技大会										
10	果物・野菜										
11	工業製品										
12	工業製品										
13	複数モチーフ										
14	複数モチーフ										
15	複数モチーフ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	85 %	● %	15 %	● %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	ギャラリーディレクター、作家活動の経験を活かし、イラスト制作に関連する授業を行う。								

科目名	ベーシックデザイン（立体）			分類	基礎	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	秋岡 昌彦	企業連携	—	科略	IP	学年	1 年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	図面・図法の基本を理解する。頭の中のイメージを平面状で企画し、立体で表現する。										
到達目標	頭の中でイメージした作品を、平面でも立体でも表現できる様にする。										
	授業計画と内容										
1	1 年生研修										
2	オリエンテーション・図面基礎										
3	三面図基礎①										
4	三面図基礎②										
5	蛇腹折り①										
6	蛇腹折り②										
7	蛇腹折り③										
8	蛇腹折り④										
9	ポップアップカード①										
10	ポップアップカード②										
11	ポップアップカード③										
12	立方体の 2 分割①										
13	立方体の 2 分割②										
14	立方体の 2 分割③										
15	立方体の 2 分割④										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	ケントブロック・定規・コンパス・ハサミ・カッターナイフ・筆記用具・色鉛筆・マーカー・木工ボンド										
履修時の注意	全課題の提出が単位取得の条件。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具メーカーで製品開発に携る経験を元に授業を実施する。								

科目名	ライフデザイン①			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	姫路 侑真・金子 千恵	企業連携	—	科目	IP	学年	1年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	学校のルールなどについてのガイダンス、個人面談、行事イベント企画										
到達目標	学校生活をスムーズに行うために学校ルールを把握する、学校行事などに集団で取り組む協調性を養う。										
	授業計画と内容										
1	1年生研修										
2	学校生活のためのガイダンス・グループワーク										
3	グループワーク										
4	個人面談1										
5	個人面談2										
6	個人面談3										
7	球技大会準備1										
8	球技大会準備2										
9	球技大会										
10	球技大会片付け										
11	夏季休暇中の課題について										
12	夏季休暇中についての事前指導										
13	学園祭準備1										
14	学園祭準備2										
15	学園祭準備3										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	40%	0%	20%	20%	0%	20%					
使用教材・教具	縫製道具一式・製図道具一式										
履修場の注意	クラス全体で動かなければならない内容となる為、全員必ず履修すること										
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	ライフデザイン①			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	姫路 侑真・金子 千恵	企業連携	—	科目	IP	学年	1年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	学校のルールなどについてのガイダンス、個人面談、行事イベント企画										
到達目標	学校生活をスムーズに行うために学校ルールを把握する、学校行事などに集団で取り組む協調性を養う。										
	授業計画と内容										
1	1年生研修										
2	学校生活のためのガイダンス・グループワーク										
3	グループワーク										
4	個人面談1										
5	個人面談2										
6	個人面談3										
7	球技大会準備1										
8	球技大会準備2										
9	球技大会										
10	球技大会片付け										
11	夏季休暇中の課題について										
12	夏季休暇中についての事前指導										
13	学園祭準備1										
14	学園祭準備2										
15	学園祭準備3										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	40%	0%	20%	20%	0%	20%					
使用教材・教具	縫製道具一式・製図道具一式										
履修場の注意	クラス全体で動かなければならない内容となる為、全員必ず履修すること										
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要		—							

科目名	CAD 入門			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	内田 里美	企業連携	—	科略	IP	学年	1 年	コマ数	2	曜日	月
授業内容	最初は簡単な線から始まり複雑なものをかいていく。最終的には自分の作品を CAD で起こせるようにする。										
到達目標	CAD を使うことで自分の作成したい作品をより多くの方に説明出来る様にする。図面を描く事によって納まりなどについて頭の中で考えるよりもっと具体的に考えられるようになる。いろいろあるコマンドの習得と自分の作りたいものを図面におこせるようになる。										
	授業計画と内容										
1	授業内容説明・CAD インストール										
2	演習 コマンドの説明①										
3	演習 コマンドの説明②										
4	演習 プロダクト①										
5	演習 プロダクト①										
6	演習 プロダクト②										
7	演習 プロダクト②										
8	演習 プロダクト③										
9	演習 プロダクト③										
10	演習 プロダクト④										
11	演習 プロダクト④										
12	演習 空間①										
13	演習 空間②										
14	演習 空間③										
15	出力・課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	ノートパソコン										
履修時の注意	毎回パソコンを使用する。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。								

科目名	家具入門			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	秋岡 昌彦	企業連携	—	科略	IP	学年	1 年	コマ数	3	曜日	月
授業内容	家具を作る上で主要な素材となる木材の加工法の基礎を身につけます。講義を交えて実際に手を動かして小物を作る事で素材や用具に対する理解を深めます。										
到達目標	・木材の物性を理解する。 ・手工具を用いての加工方法の基礎を身に付ける。・機械を用いての加工方法の基礎を身に付ける。										
	授業計画と内容										
1	オリエンテーション 木材について										
2	課題 1「グループ制作課題」 製材										
3	スミ付け										
4	部品加工										
5	部品加工										
6	仮組み、本組み										
7	塗装										
8	課題 2「箱」 アイデアスケッチ										
9	作図、材料選定										
10	製材（製材機械の使い方と手順）										
11	部品加工（丸ノコ盤の使い方）										
12	部品加工 箱体組み立て										
13	部品加工 蓋制作（板はぎの方法）										
14	蓋取り付け、木地調整										
15	塗装、テスト										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	20 %	0 %	0 %					
使用教材・教具	・クロッキー帳										
履修場の注意	粉塵、危険を伴う作業をします。安全な服装で授業に臨むこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具メーカーで製品開発に携る経験も元に授業を実施する								

科目名	キャリアデザイン			分類	知識・教養	形態	講義	単位数	1	開講期	後期
担当教員	花田洋通	企業連携	—	科略	IP	学生	1年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	ビジネス能力検定3級　キャリア形成に必要な職業分野の理解										
到達目標	社会の仕組み、ルール、マナーを知ること。専門分野に対しての理解と考察を深める。										
	授業計画と内容										
1	ビジネス能力検定3級対策										
2	ビジネス能力検定3級対策										
3	ビジネス能力検定3級対策										
4	ビジネス能力検定3級対策										
5	ビジネス能力検定3級対策										
6	ビジネス能力検定3級対策										
7	ビジネス能力検定3級対策										
8	ビジネス能力検定3級対策										
9	クリエイティブな仕事への理解										
10	クリエイティブな仕事への理解										
11	クリエイティブな仕事への理解										
12	企業研究										
13	企業研究										
14	社会人の収入と支出について										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	85%	0%	15%	0%					
使用教材・教具	—										
履修時の注意	—										
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	雑貨入門			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期	
担当教員	藤原 敏嗣		企業連携	—	科略	IP	学年	1 年	コマ数	3	曜日	水
授業内容	完成作品をイメージしながら、デザインワークを段階を追ってこなしていく。素材の特性を知り、加工技術・工具の使用法を身につける。											
到達目標	素材の特性を知り加工技術を身につけると共に、デザインに適した素材選択ができる様にする。											
	授業計画と内容											
1	オリエンテーション・木材の作品①											
2	木材の作品②											
3	木材の作品③											
4	木材の作品④											
5	木材の作品⑤											
6	アクリルの作品①・旋盤で作る作品①											
7	アクリルの作品②・旋盤で作る作品②											
8	アクリルの作品③・旋盤で作る作品③											
9	アクリルの作品④・展示販売シュミレーション参加											
10	アクリルの作品⑤・旋盤で作る作品④											
11	アクリルの作品⑥・旋盤で作る作品⑤											
12	レジンの作品①											
13	レジンの作品②											
14	レジンの作品③・デザフェス報告会参加											
15	レジンの作品④											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %						
使用教材・教具	ケントブロック・定規・コンパス・はさみ・カッターナイフ・アクリル樹脂・木材・サンドペーパー・ワトコオイル・コンパウンド・UV レジン											
履修時の注意	全課題の提出が単位取得の条件。個人制作の材料は個人購入を原則とする。											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	プロダクトから WEB まで 15 年以上の国内外ブランドのデザイン経験									

科目名	ジュエリー入門			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	武田 新	企業連携	—	材料	IP	半年	1年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	作品を作りながら、工具の使用法・基本技術を身につける。										
到達目標	金属特有の性質・加工法などを理解し、身近な素材として活用できるようになる。										
	授業計画と内容										
1	授業についての説明、安全作業など										
2	金属の切断方法・種類										
3	糸鋸の使用法										
4	整形・仕上げ方法										
5	//										
6	銀の接合方法・種類										
7	銀ロウについて										
8	バーナー（ブローパイプ）の使い方										
9	熱処理・酸洗いについて										
10	エッチング作品制作										
11	延展性・加工酸化について										
12	//										
13	銀平打ちリング制作										
14	サイズ取りの方法、スリ合せ、ロウ接温度										
15	試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	60%	0%	10%	30%					
使用教材・教具											
履修場の注意	個人工具を用意してもらいます。（注文受付して一括購入）										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営。								

科目名	進級制作Ⅰ			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	2	開講期	後期	
担当教員	藤原 敏嗣		企業連携	—	科略	IP	学生	1年	コマ数	4	曜日	金
授業内容	展開図面制作。ラフデザイン。2.2.5Mの高さから落下させても中身が保護されるパッケージデザイン。											
到達目標	ケント紙のみ使用して2Mの高さから落下させても衝撃を吸収して生卵5個全てが保護されるパッケージの製作											
	授業計画と内容											
1	進級製作課題の企画、設計、製作											
2	1/1 モデル2個作成(テスト用、展示用)											
3	10月中旬に最終事前テスト(茹で卵を使用)											
4	制作											
5	制作											
6	制作											
7	制作											
8	制作											
9	制作											
10	12月上旬に最終事前テスト(生卵を使用)											
11	制作											
12	制作											
13	制作											
14	制作											
15	合評会にて落下試験を実施											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0%	0%	30%	0%	30%	40%						
使用教材・教具	各自ラップトップ、製作に必要な定規・カッター等。ケント紙は購買でも随時購入可											
履修時の注意	各自のラップトップを使用、マウス必須(ラップトップ・マウス・電源アダプター等は必ず持参すること)											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	プロダクトからWEBまで15年以上の国内外ブランドのデザイン経験									

科目名	スペースデザイン入門			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	山本 治彦	企業連携	—	科略	IP	学生	1 年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	空間を第三者へ伝える表現方法としての建築模型の技法を学ぶ。										
到達目標	基本的な図面の理解に加え、実際に存在する空間を図面から模型へと立体化する力を養うとともに、第三者へ「見せる」ための工夫ができるようになることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（模型を制作する上でのポイントについて）										
2	模型を制作するための工具と材料について										
3	課題 1：指定する建物の図面を読み、模型を制作する										
4	制作①										
5	制作②										
6	制作③										
7	制作④										
8	模型の撮影										
9	課題 2：各自で選定した建物の資料（図面）を収集し、模型を制作する										
10	制作①										
11	制作②										
12	制作③										
13	制作④										
14	模型の撮影										
15	課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	2 級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系建築設計事務所勤務の後一級建築士事務所主宰。住宅を中心に設計活動。								

科目名	セラミック入門			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期	
担当教員	矢加部 徳公		企業連携	—	科略	IP	半年	1年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	アイディアスケッチ、成形、焼成などの各行程を知ること、土が作品に変化していく様子がわかります。たまづくりでお碗、たたらづくりでカップ＆ソーサー、くりぬきでふたものを制作します。											
到達目標	イメージから作品化完成までのプロセスをたどることができる。基礎力を身につけてセラミックでの表現をおこなうことができる。											
	授業計画と内容											
1	オリエンテーション 粘土の再生											
2	たまづくり1 お碗を考える											
3	たまづくり2 成形											
4	たまづくり3 削り											
5	たたらづくり1 カップ＆ソーサーを考える											
6	たたらづくり2 成形											
7	たたらづくり3 成形、加飾											
8	たたらづくり4 加飾											
9	くりぬき1 ふたものを考える											
10	くりぬき2 成形											
11	くりぬき3 削り											
12	窯詰め 素焼き											
13	施釉 窯詰め 本焼き											
14	施釉 窯詰め 本焼き											
15	講評 プレゼンテーション											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0%	10%	60%	0%	0%	30%						
使用教材・教具												
履修場の注意	汚れてもよい格好が望ましい。											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	陶芸家としてのキャリアをベースに指導をしていく。									

科目名	プレゼンテーションⅠ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	村上・愛	企業連携	—	経路	IP	半年	1年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	進級制作と連動して、作品イメージを伝える為の、プレゼンボードを PC を使って制作します。										
到達目標	作品のイメージを第三者に効果的に伝えることができるようになる。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明										
2	Illustrator テクニック										
3	//										
4	//										
5	Photoshop テクニック										
6	//										
7	//										
8	印刷入稿データテクニック										
9	プレゼンボードアイデアスケッチ										
10	プレゼンボードデータ制作										
11	//										
12	//										
13	//										
14	印刷入稿データ最終チェック／プレゼンボード完成										
15	IP 科 2・3 年生 合評会見学										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	20%	40%	0%	40%	0%					
使用教材・教具	・パソコン										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	3DCG 演習 I -a			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	藤原 敏嗣	企業連携	—	科略	IP	学年	2 年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	サンプルモデルの企画設計制作										
到達目標	・ 3D モデリングの基本技術の習得、Illustrator・Photoshop の実践技術の習得 ・ サンプルモデルの企画・設計・製作										
	授業計画と内容										
1	オリエンテーション・ソフトウェアインストール										
2	3Dモデリングソフトの基本操作・ラフデザイン案構想										
3	↓										
4	↓										
5	デザインミーティング・デザイン案確定										
6	企画書製作										
7	サンプルモデル設計図面の作成										
8	↓										
9	サンプルモデル製作										
10	↓										
11											
12	↓										
13	フライヤーデータの作成										
14	↓										
15	完成発表										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	40 %	● %	30 %	30 %					
使用教材・教具	各自のコンピューター ※マウス必須										
履修場の注意	各自のラップトップを使用、マウス必須（ラップトップ・マウス・電源アダプター等は必ず持参すること）										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	プロダクトから WEB まで 15 年以上の国内外ブランドのデザイン経験								

科目名	3DCG 演習 I -b			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業連携	—	科略	IP	学年	2 年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	ARCHICAD の操作実習と過去の名建築の図面をトレースすることで活用法を理解する。										
到達目標	・ ARCHICAD の習得を通して、3D CAD をマスターし、BIM の概念について理解する。										
	授業計画と内容										
1	・ ARCHICAD の操作を習得して今後の製図に活かす。										
2	オリエンテーション ソフトのダウンロード等 BIM でできること（講義）										
3	Archicad とガイドラインの概要										
4	1F モデルを作成（1）										
5	1F モデルを作成（2）										
6	各階の作成とモデルの仕上げ（1）										
7	各階の作成とモデルの仕上げ（2）										
8	各階の作成とモデルの仕上げ（3）										
9	モデルから図面へ										
10	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（1）										
11	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（2）										
12	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（3）										
13	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（4）										
14	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（5）										
15	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（6）										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	50 %	0 %	50 %	0 %					
使用教材・教具	Archicad 26 ではじめる BIM 設計入門（企画設計編）										
履修時の注意	前半は教科書を使用して説明を行うので、必ず教科書を忘れないこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計の実務を 20 年以上行っている経験を生かして授業を行う。								

科目名	CAD I			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	内田 里美	企業連携	—	科略	IP	学生	2 年	コマ数	2	曜日	月
授業内容	CAD ソフトの基本操作を習得する。										
到達目標	CAD の基本操作を習得し、簡単な木造住宅を題材に図面を描くことにより、CAD 独特の製図手法に慣れることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明										
2	基本操作解説（コマンドメニュー・図形属性・レイヤ・図面属性）										
3	図面枠の作成（用紙・縮尺の設定、スナップ・ファイルの操作）										
4	木造住宅平面図の作成①（グリッド機能の説明）										
5	木造住宅立面図の作成①（平面図の利用）										
6	木造住宅平面図の作成②（四角・2 線 / 編集コマンドの利用）										
7	木造住宅立面図の作成②（グループレイヤと縮尺）										
8	木造住宅平面図の作成③（建具部品の活用）										
9	木造住宅立面図の作成③（レイヤ利用の編集）										
10	木造住宅平面図の作成④（ハッチング・分割・曲線コマンド）										
11	木造住宅立面図の作成④（手描き線の編集）										
12	木造住宅平面図の作成⑤（寸法・室名の記入）										
13	木造住宅立面図の作成⑤（寸法と図形の記入）										
14	出力実習										
15	課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	2 級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。								

科目名	インテリアコーディネーター演習Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科略	IP	学年	2 年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	教科書を中心に、インテリアの歴史、計画、各エレメントについて学習する。										
到達目標	資格取得への意欲獲得。インテリアの仕事についての理解を深め、空間デザインの楽しさを体感することができる。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明										
2	資格取得への意欲獲得。インテリアの仕事についての理解を深め、空間デザインの楽しさを体感することができる。										
3	インテリアコーディネーターの仕事										
4	インテリアの歴史①（日本）										
5	インテリアの歴史②（西洋）										
6	インテリアコーディネーションの計画①（検討事項）										
7	インテリアコーディネーションの計画②（生活場面の構成手法）										
8	インテリアコーディネーションの計画③（リフォームの計画）										
9	インテリアエレメント・関連エレメント①（インテリアエレメント）										
10	インテリアエレメント・関連エレメント②（住宅用家具）										
11	インテリアエレメント・関連エレメント③（造作部品）										
12	インテリアエレメント・関連エレメント④（ウインドートリートメント）										
13	インテリアエレメント・関連エレメント⑤（カーペット）										
14	インテリアエレメント・関連エレメント⑥（インテリアオーナメント・アート）										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	20 %	60 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	インテリア設計演習			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	香山 安武	企業連携	—	科略	IP	学年	2年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	実務知識の習得・想像力の向上を目的に、限られた空間の中にインテリア演習をしながら課題設計を行う。										
到達目標	内装から家具・照明などインテリア空間を総合的にイメージ・設計をできるようになること。										
授業計画と内容											
1	授業概要説明・設計の組み立てとプランの進め方について										
2	実習●（既存図面トレース）										
3	実習②（既存図面トレース）										
4	実習③（平面プラン計画）										
5	実習④（平面プラン仕上げ）										
6	実習⑤（展開図作成）										
7	実習⑥（照明計画）										
8	実習⑦（スケッチパース作成）										
9	実習⑧（スケッチパース仕上げ）										
10	実習⑨（プレゼンボード作成）										
11	実習⑩（プレゼンボード作成）										
12	実習⑪（プレゼンボード作成）										
13	実習⑫（プレゼンボード作成）										
14	実習⑬（プレゼンボード仕上げ）										
15	作品提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	● %	● %	80 %	● %	20 %	● %					
使用教材・教具	・ 文具一式 ・ 色鉛筆、マーカー等色付け具 ・ CAD 入りパソコン ・ スケッチブック										
履修場の注意	課外授業（実例の見学等）を行う事があります。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系設計事務所にて7年住宅設計・店舗設計に携わり独立して5年設計事務所として活動しています。								

科目名	インテリア設計演習			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期	
担当教員	香山 安武		企業連携	—	科属	IP	学卒	3年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	実務知識の習得・想像力の向上を目的に、限られた空間の中にインテリア演習をしながら課題設計を行う。											
到達目標	内装から家具・照明などインテリア空間を総合的にイメージ・設計をできるようになること。											
	授業計画と内容											
1	授業概要説明・設計の組み立てとプランの進め方について											
2	実習①（既存図面トレース）											
3	実習②（既存図面トレース）											
4	実習③（平面プラン計画）											
5	実習④（平面プラン仕上げ）											
6	実習⑤（展開図作成）											
7	実習⑥（照明計画）											
8	実習⑦（スケッチパース作成）											
9	実習⑧（スケッチパース仕上げ）											
10	実習⑨（プレゼンボード作成）											
11	実習⑩（プレゼンボード作成）											
12	実習⑪（プレゼンボード作成）											
13	実習⑫（プレゼンボード作成）											
14	実習⑬（プレゼンボード仕上げ）											
15	作品提出											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%						
使用教材・教具	・ 文具一式 ・ 色鉛筆、マーカー等色付け具 ・ CAD 入りパソコン ・ スケッチブック											
履修場の注意	課外授業（実例の見学等）を行う事があります。											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系設計事務所にて7年住宅設計・店舗設計に携わり独立して5年設計事務所として活動しています。									

科目名	家具演習Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	秋岡 昌彦	企業連携	—	科略	IP	学生	2 年	コマ数	3	曜日	月
授業内容	自分でデザインした家具を、モデル制作→作図→積算→材料手配→制作の順に計画的に制作します。										
到達目標	実際に座る事の出来る椅子を考案し、木材（棒材）を用いて作る事ができる。										
	授業計画と内容										
1	オリエンテーション／課題内容説明										
2	アイデアスケッチ、制作物決定										
3	1 / 5モデル作成										
4	1 / 5モデル作成										
5	作図										
6	作図										
7	材料手配										
8	木取り、製材										
9	スミ付け、部品加工										
10	部品加工										
11	部品加工										
12	部品加工										
13	仮組み、微調整、本組み										
14	目地払い、素地調整、塗装										
15	合評、まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具	・クロッキー帳・方眼紙（A3）、製図用具										
履修時の注意	材料の木材は授業内で材木店に出向き、自分で購入しますので 3000 円程度は必要です。作業に適した服装で臨む										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具の製品開発や制作に 22 年間携わった経験を基き、授業を実施する								

科目名	建築製図Ⅱ①ーa			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科略	IP	学生	2 年	コマ数	2	曜日	月
授業内容	木造平屋建の図面のトレースによって各図面を理解するとともに、建築的条件のもと、身近な住宅を自らプランニングしたものを、各図面で表現する。										
到達目標	各図面の「読み方」「描き方」をトレース、設計製図演習によって理解し、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（製図の基本①）										
2	配置図トレース										
3	平面図トレース										
4	立面図トレース										
5	断面図トレース										
6	矩計図トレース										
7	設計製図（平面図エスキース）										
8	設計製図（平面図作図）										
9	設計製図（立・断面図エスキース①）										
10	設計製図（立・断面図エスキース②）										
11	設計製図（立・断面図作図①）										
12	設計製図（立・断面図作図②）										
13	設計製図（配置図作図）										
14	設計製図（矩計図作図）										
15	図面提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	2 級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	建築製図Ⅱ①ーb			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	山本 治彦	企業連携	—	科開	IP	半卒	2 年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	木造平屋建の図面のトレースによって各図面を理解するとともに、建築的条件のもと、身近な住宅を自らプランニングしたものを、各図面で表現する。										
到達目標	各図面の「読み方」「描き方」をトレース、設計製図演習によって理解し、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目指すとする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（製図の基本②）										
2	基礎伏・床伏図トレース										
3	小屋伏・天井伏図トレース										
4	軸組図トレース										
5	展開図トレース										
6	部分詳細図トレース										
7	設計製図（基礎伏・床伏図エスキース）										
8	設計製図（基礎伏・床伏図作図）										
9	設計製図（小屋伏・天井伏図エスキース）										
10	設計製図（小屋伏・天井伏図作図）										
11	設計製図（軸組図エスキース）										
12	設計製図（軸組図作図）										
13	設計製図（展開図作図）										
14	設計製図（部分詳細図作図）										
15	図面提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修者の注意	2 級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系建築設計事務所勤務の後一級建築士事務所主宰。住宅を中心に設計活動。								

科目名	建築設備			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業連携	—	材料	IP	学卒	2・3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	現在の建築において欠かすことのできない重要な役割をもっている空調・給排水衛生・電気等の建築設備全般についての講義を行う。										
到達目標	建築設備について、各設備の特徴や基礎的な事項を習得し、建築との相互理解を深めることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（建築設備概要）										
2	空気調和設備①（概要・設備負荷について）										
3	空気調和設備②（計画と方式について）										
4	空気調和設備③（機器と材料について）										
5	空気調和設備④（換気設備・排煙設備について）										
6	給排水衛生設備①（概要・給排水設備について）										
7	給排水衛生設備④（通気設備について）										
8	給排水衛生設備⑤（衛生器具について）										
9	給排水衛生設備⑥（消火設備について）										
10	給排水衛生設備⑦（し尿浄化槽設備について）										
11	電気設備①（概要・電気設備について）										
12	電気設備②（照明設備について）										
13	電気設備③（通信情報設備について）										
14	電気設備④（昇降機設備について）										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽設計事務所代表取締役。								

科目名	建築設備			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業連携	—	材料	IP	半年	3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	現在の建築において欠かすことのできない重要な役割をもっている空調・給排水衛生・電気等の建築設備全般についての講義を行う。										
到達目標	建築設備について、各設備の特徴や基礎的な事項を習得し、建築との相互理解を深めることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（建築設備概要）										
2	空気調和設備①（概要・設備負荷について）										
3	空気調和設備②（計画と方式について）										
4	空気調和設備③（機器と材料について）										
5	空気調和設備④（換気設備・排煙設備について）										
6	給排水衛生設備①（概要・給排水設備について）										
7	給排水衛生設備④（通気設備について）										
8	給排水衛生設備⑤（衛生器具について）										
9	給排水衛生設備⑥（消火設備について）										
10	給排水衛生設備⑦（し尿浄化槽設備について）										
11	電気設備①（概要・電気設備について）										
12	電気設備②（照明設備について）										
13	電気設備③（通信情報設備について）										
14	電気設備④（昇降機設備について）										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽設計事務所代表取締役。								

科目名	建築法規			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業 連携	—	科略	IP	学年	2・3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	建築物の災害から国民の生命、健康、財産などの保護をするために建築物の最低基準を中心に、建築士法・建設業法等の関連法令を学ぶ。										
到達目標	建築の企画、設計、建築工事の過程に直接関係するルールを定めている建築基準法の基礎的事項を理解し、建築関係職種の技術者としての基礎的な知識の習得を目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（建築法規概要）										
2	用語の定義										
3	面積・高さの算定										
4	建築手続き										
5	防火・避難										
6	内装制限										
7	道路										
8	用途地域										
9	容積率										
10	建ぺい率										
11	斜線制限										
12	日影規制										
13	建築士法										
14	建設業法										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽設計事務所代表取締役。								

科目名	建築法規			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業 連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	建築物の災害から国民の生命、健康、財産などの保護をするために建築物の最低基準を中心に、建築士法・建設業法等の関連法令を学ぶ。										
到達目標	建築の企画、設計、建築工事の過程に直接関係するルールを定めている建築基準法の基礎的事項を理解し、建築関係職種の技術者としての基礎的な知識の習得を目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（建築法規概要）										
2	用語の定義										
3	面積・高さの算定										
4	建築手続き										
5	防火・避難										
6	内装制限										
7	道路										
8	用途地域										
9	容積率										
10	建ぺい率										
11	斜線制限										
12	日影規制										
13	建築士法										
14	建設業法										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽設計事務所代表取締役。								

科目名	コンセプトメイキングⅠ			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	秋岡 昌彦	企業連携	—	材料	IP	半年	2 年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	グループでのコンセプト立案や、個人でのコンセプト立案をおこない、それぞれ発表する。										
到達目標	目的にあったコンセプトの作成ができるようになる。企画を実現させるために説得力のある説明ができるようになる。										
	授業計画と内容										
1	コンセプトとは？										
2	個人演習課題①										
3	グループ演習①										
4	グループ演習②										
5	グループ演習③										
6	進級制作コンセプトシート配布、作成										
7	進級制作スケジュール表配布、作成										
8	進級制作コンセプトシート、スケジュール表提出										
9	制作内容確認①										
10	制作内容確認②										
11	中間報告会用コンセプトシート配布										
12	中間報告会準備① 中間報告会用コンセプトシート提出										
13	中間報告会準備②										
14	中間報告会準備③										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	20 %	10 %	50 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	提出締切に遅れないように、計画的に課題を作成すること。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具の企画に携った22年間の経験に基づき企画立案方法を教える。								

科目名	雑貨演習Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	1 期
担当教員	黒住 泰子・牧野 雄理	企業連携	—	科目	IP	学年	2 年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	ガラスリッツェン、サンドブラスト、ステンドグラス、パーナーワークなどの技法について実習										
到達目標	ガラス素材を利用した表現の工夫と基礎技術の習得										
	授業計画と内容										
1	ガラス工芸の歴史と技法研究										
2	各技法の制作手順研究と技法別グループ編成										
3	下絵を描き、材料・用具の確認と購入計画作成										
4	作品制作①										
5	作品制作②										
6	作品制作③										
7	作品制作④										
8	作品発表、課題提出										
9	基礎 課題 スマートフォンスリーブの製作										
10	基礎 課題 マチのあるコインケースの製作										
11	基礎 課題 仕切りのあるカードケースの製作										
12	基礎 応用 課題 カード、コイン、お札の入る財布の製作										
13	基礎 応用 課題 製作時間										
14	基礎 応用 課題 製作時間										
15	課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	15 %	10 %	55 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	グループ編成後連絡 安全に配慮して、材料・用具を扱い、協力して作品制作する										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	造形分野の作家として展示会やワークショップの経験豊富								

科目名	ジュエリー演習Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	武田 新	企業連携	—	材料	IP	学年	2年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	制作の段取り（作業を進める順序）重視、コスト計算、プレゼンテーション方法										
到達目標	商品となりうる作品の制作。完成品の完全なイメージが描けるようにする。										
	授業計画と内容										
1	異種材料の組合せ作品制作										
2	象眼について（インレイ・オーバーレイ）										
3	堅木に真鍮を埋め込む作品（ペンダントヘッド）										
4	粹加工										
5	//										
6	ベルト・バックル 制作										
7	種類・構造・機能について										
8	制作										
9	球技大会										
10	制作										
11	ロスト・ワックス鑄造の原理・鑄込み・種類・方法										
12	制作（原型づくり・仕上げまで）										
13	//										
14	課題作品批評										
15	試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	60%	0%	10%	30%					
使用教材・教具											
履修者の注意	デザインが自由になる為、2年生より材料調達は原則個人で行う。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営。								

科目名	情報デザイン検定			分類	知識・教養	形態	講義	単位数	1	開講期	前期	
担当教員	村木 威文		企業連携	—	情報	IP	学年	2年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	情報デザインの5つのカテゴリーである、「考え方」「分析力」「論理力」「表現力」「提案力」について「J検情報デザイン完全対策公式テキスト（JMAMA）」を教科書として学習し、練習課題や過去問題を行うことで、学習効果を確認する。											
到達目標	情報を的確に扱い、正確に第三者に伝えるための知識と技術を身に付けることができ、検定に合格することでその裏付けを得ることができるようになる。											
	授業計画と内容											
1	オリエンテーション／情報デザイン											
2	情報とモラル／働きかけ力											
3	調査の考え方											
4	調査方法											
5	分析と整理											
6	問題解決の考え方											
7	問題解決手法											
8	情報構造の考え方											
9	情報表現の手法											
10	情報の伝達1											
11	情報の伝達2											
12	評価とフィードバック											
13	筆記試験（検定対策1）											
14	筆記試験（検定対策2）											
15	まとめ											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0%	0%	0%	40%	50%	10%						
使用教材・教具	・改訂版J検情報デザイン完全対策公式テキスト ・筆記用具／付箋（50mm x 50mm 程度のサイズのもの）											
履修者の注意	あらゆる分野の「デザイン」の基礎力を問う検定の対策講座。検定受験は必須ではない。											
実験・実習のある教員による授業科目	○	実務経験概要	J検情報デザイン試験の作問と公式テキストの執筆を行った経験をもとに授業を展開する									

科目名	スペースデザイン演習Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	山本 治彦	企業連携	—	科略	IP	学年	2 年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	瀬戸内海に面した南向きの緩やかな傾斜地で床面積 5 0 m 程度の別荘の設計をしてもらいたいと思っています。										
到達目標	確かな空間のイメージができているか。総合的に建築言語が使えているか。そして楽しんで計画ができているか（これが一番重要）。										
	授業計画と内容										
1	どんな場所にするかを考える										
2	資料集め										
3	エスキース（必要面積設定）										
4	エスキース										
5	↓										
6	↓										
7	エスキース決定										
8	作図										
9	↓										
10	↓										
11	↓										
12	完成予想図 or 模型										
13	↓										
14	↓										
15	講評会										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	30 %	50 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	製図用具・模型製作用具・彩色用具 etc										
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系建築設計事務所勤務の後一級建築士事務所主宰。住宅を中心に設計活動。								

科目名	ゼミⅠ			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1.5	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	○	科略	IP	学年	2年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	コンペへの応募、課題制作、展覧会の見学、技術や素材、インテリア・建築デザインに関する実践研究などをおこなう。										
到達目標	インテリア・建築の計画、法規、施工、構造について知的好奇心を働かせ、吸収しようとする姿勢を身につける。課題発見力、情報収集力、空間表現、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につける										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明										
2	課題「私の好きな住宅-その解釈」の課題内容説明										
3	題材とする住宅の選定										
4	制作①										
5	制作②										
6	制作③										
7	制作④→課題提出(プレゼンテーション)										
8	フィールドワーク①										
9	フィールドワーク②										
10	第29回ワンデーエクササイズ概要について										
11	フィールドワーク③										
12	フィールドワーク④										
13	第29回ワンデーエクササイズグループディスカッション①										
14	第29回ワンデーエクササイズグループディスカッション②										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	40%	40%	0%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修時の注意	計4回分の授業を使って校外見学を2回程度実施します。※日程はその都度連絡します。休日を利用する場合あり。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて5年間の設計業務経験								

科目名	ビジネスマナー / インターンシップ			分類	知識・教養	形態	講義	単位数	1	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	○	科目	IP	学年	2 年	コマ数	1	曜日	月
授業内容	業種リサーチ、企業リサーチを通じ、自分の興味のある業種、企業を知り、企業への1～2週間程度の実習を行う。										
到達目標	3年次の就職活動において、実習先においての経験から自分に合った職種を見極めることができる。										
	授業計画と内容										
1	企業実習制度を知る										
2	企業リサーチ①										
3	企業リサーチ②										
4	名刺、自己紹介シート作成①										
5	名刺、自己紹介シート作成②										
6	履歴書作成①										
7	履歴書作成②										
8	夏期インターンシップ受け入れ企業について										
9	ファイル作成①										
10	ファイル作成②										
11	ファイル作成③										
12	ポートフォリオ作成①										
13	ポートフォリオ作成②										
14	ポートフォリオ作成③										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	プロダクト企画Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	1期
担当教員	村上 愛・三島 奈津希	企業連携	—	経路	IP	学年	2 年	コマ数	4	曜日	水
授業内容	企画・制作・販売の一連の流れを考えた上での、ショップ企画・商品企画・商品サンプル制作をする。										
到達目標	企画・制作・販売の一連の流れを考えた上での、ショップ企画・商品企画・商品サンプル制作をする。										
	授業計画と内容										
1	オリエンテーション、授業内容・課題内容・価格設定の説明、商品とショップのリサーチ										
2	リサーチ報告会（午前）、デザイン案①（午後）、商品企画書										
3	デザイン案②、ショップ・担当決定、LINE グループ開設（各ショップ用、社長 & 副社長用）										
4	ショップ企画（午前）、ショップ名・コンセプト決定、Twitter アカウント開設（全体用）、Instagram アカウント開設（各ショップ用）、ロゴ・ディスプレイのイメージ、会計資料の説明（領収書の保管）、デザイン案修正（午後）										
5	サンプル制作①										
6	サンプル制作②、商品企画書最終										
7	10：30～計画発表会、サンプル修正①										
8	サンプル修正②、ロゴ提出、ディスプレイ案提出、商品制作計画&実施記録										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	10 %	50 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	プロダクト制作Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	2期
担当教員	村上 愛・三島 奈津希	企業連携	—	材料	IP	半卒	2年	コマ数	4	曜日	水
授業内容	1期のプロダクト企画に基づいて、最適な材料や制作方法を考慮し、効率よく商品制作をする。										
到達目標	表現に適した材料や技法を選択し、計画的に制作出来るようになる。										
	授業計画と内容										
1	商品制作①										
2	商品制作②										
3	商品制作③										
4	商品制作④										
5	商品制作⑤										
6	商品制作⑥										
7	商品提出（午前）、取説・名刺のフォーマット配布、ディスプレイ図面・材料購入計画作成										
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30%	10%	50%	0%	10%	0%					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	ライフデザイン③			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	○	科略	IP	学年	2 年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	担任やクラスメイトとの情報交換、面談を通じて、各自の目標に向かった学生生活を送れるよう計画、振り返りをする。										
到達目標	企画力、計画性、協調性、グループワーク能力を高め、社会に適応する力を身につける。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明										
2	個人面談①ポートフォリオ制作①										
3	個人面談②ポートフォリオ制作②										
4	個人面談③ポートフォリオ制作③										
5	個人面談④ポートフォリオ制作④										
6	個人面談⑤ポートフォリオ制作⑤										
7	球技大会準備①										
8	球技大会準備②										
9	デザインフェスタ対応①										
10	デザインフェスタ対応②										
11	デザインフェスタ対応③										
12	進級制作中間報告会準備①										
13	進級制作中間報告会準備②										
14	インターンシップ準備など										
15	夏期休暇についての直前指導										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	60 %	0 %	20 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	学生生活に関する連絡、行事の準備活動、進路に関することを本授業にておこなう。										
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	家具演習Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	1.5	開講期	3期
担当教員	秋岡 昌彦	企業連携	—	材料	IP	半年	2年	コマ数	3	曜日	月
授業内容	成形合板の技術を用いてハンガーを制作します。										
到達目標	・成形合板技術を理解し、その可能性について考える事ができるようになる。 ・1つの形状の部材を組み合わせ、造形的なバリエーションを導き出す事ができるようになる。										
	授業計画と内容										
1	「成形合板技術を用いたハンガー」原理の説明 スケッチ										
2	図面作成										
3	型制作①										
4	型制作② 合板の準備										
5	プレス成形作業①										
6	プレス成形作業②										
7	トリミング、金具付け、仕上げ										
8	講評会										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具	・クロッキー帳										
履修場の注意	粉塵と危険を伴う作業をおこなうので、安全な服装で授業に臨むこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具メーカーで製品開発に携った経験を元に授業を実施する。								

科目名	建築環境			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	後期	
担当教員	丹羽 雅人		企業連携	—	材料	IP	学卒	2年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	建築物を取り巻く自然環境と都市環境に関する基本的要素と、その中で快適な室内環境を作り出すために必要な方法など建築環境の基本的な事項を学ぶ。											
到達目標	建築計画の建築と自然環境・都市環境との関連について習得し、快適な環境を作り出すために必要なプラン作成など実際に活用する能力と姿勢を育てることを目標とする。											
	授業計画と内容											
1	授業概要説明①（建築環境概要）											
2	授業概要説明②（自然の中の建築、都市の中の建築について）											
3	気候①（外部気候）											
4	気候②（内部気候）											
5	伝熱と結露①（伝熱）											
6	伝熱と結露②（結露）											
7	換気と通気（室内の空気汚染）											
8	日照と日射①（日照と住環境）											
9	日照と日射②（太陽の位置）											
10	採光・照明と色彩①（測光量）											
11	採光・照明と色彩②（視覚と見やすさ）											
12	音環境①（音の性質）											
13	音環境②（遮音と吸音）											
14	都市環境											
15	筆記試験											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%						
使用教材・教具												
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽建築設計事務所代表取締役。									

科目名	建築環境			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	後期	
担当教員	丹羽 雅人		企業連携	—	材料	IP	半年	13年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	建築物を取り巻く自然環境と都市環境に関する基本的要素と、その中で快適な室内環境を作り出すために必要な方法など建築環境の基本的な事項を学ぶ。											
到達目標	建築計画の建築と自然環境・都市環境との関連について習得し、快適な環境を作り出すために必要なプラン作成など実際に活用する能力と姿勢を育てることを目標とする。											
	授業計画と内容											
1	授業概要説明①（建築環境概要）											
2	授業概要説明②（自然の中の建築、都市の中の建築について）											
3	気候①（外部気候）											
4	気候②（内部気候）											
5	伝熱と結露①（伝熱）											
6	伝熱と結露②（結露）											
7	換気と通気（室内の空気汚染）											
8	日照と日射①（日照と住環境）											
9	日照と日射②（太陽の位置）											
10	採光・照明と色彩①（測光量）											
11	採光・照明と色彩②（視覚と見やすさ）											
12	音環境①（音の性質）											
13	音環境②（遮音と吸音）											
14	都市環境											
15	筆記試験											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%						
使用教材・教具												
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽建築設計事務所代表取締役。									

科目名	建築計画			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	後期	
担当教員	中山 裕志		企業連携	—	科略	IP	学年	2 年	コマ数	2	曜日	月
授業内容	建築種別・施設別に施設計画各論を進めるにあたり、立地計画・配置計画・各機能の計画・構造計画・設備計画などに関する建築計画の基礎的な事項を学ぶ。											
到達目標	建築計画に関する基礎的な知識、建築計画の建築と自然環境との関連について習得し、プラン作成など実際に活用する能力と姿勢を育てることを目標とする。											
	授業計画と内容											
1	授業概要説明①（建築計画概要）											
2	授業概要説明②（構造計画と設備計画について）											
3	授業概要説明③（避難・防災計画と室内環境の計画について）											
4	住宅の計画①（住宅計画の進め方）											
5	住宅の計画 ②（独立住宅の計画）											
6	住宅の計画③（二世帯住宅の平面計画）											
7	集合住宅の計画①（計画の進め方）											
8	集合住宅の計画 ②（集合住宅の平面計画）											
9	事務所の計画①（計画の進め方）											
10	事務所の計画②（事務所の平面計画）											
11	幼稚園計画①（幼稚園の計画の進め方）											
12	幼稚園の計画 ②（幼稚園の平面計画）											
13	図書館の計画①（計画の進め方）											
14	図書館の計画②（図書館の平面計画）											
15	筆記試験											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0 %	0 %	0 %	80 %	20 %	0 %						
使用教材・教具												
履修時の注意	2 級建築士受験に関わる指定科目											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験									

科目名	建築製図Ⅱ②ーa			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科属	IP	学年	2 年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	前期の木造平屋建の発展で、木造2階建の図面のトレースによって、平屋建にはなかった上・下階の空間的なつながり（階段の取り方）を理解するとともに、建築的条件のもと、身近な住宅を自らプランニングしたものを、各図面で表現する。										
到達目標	木造2階建の設計製図演習によって、上・下階をつなげる階段の断面的処理ができ、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目指す。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（製図の基本③）										
2	配置図トレース										
3	1 階平面図トレース										
4	2 階平面図トレース										
5	立面図トレース										
6	断面図トレース										
7	断面詳細図トレース										
8	設計製図（平面図エスキース）										
9	設計製図（1・2 階平面図作図）										
10	設計製図（立・断面図エスキース）										
11	設計製図（立・断面図作図）										
12	設計製図（配置図作図）										
13	設計製図（断面詳細図作図①）										
14	設計製図（断面詳細図作図②）										
15	図面提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修者の注意	2 級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	建築製図Ⅱ②ーb			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科略	IP	半年	2 年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	前期の木造平屋建の発展で、木造2階建の図面のトレースによって、平屋建にはなかった上・下階の空間的なつながり（階段の取り方）を理解するとともに、建築的条件のもと、身近な住宅を自らプランニングしたものを、各図面で表現する。										
到達目標	木造2階建の設計製図演習によって、上・下階をつなげる階段の断面的処理ができ、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目指す。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（製図の基本④）										
2	設計製図（基礎伏図エスキース）										
3	設計製図（基礎伏図作図）										
4	設計製図（1階床伏図エスキース）										
5	設計製図（1階床伏図作図）										
6	設計製図（2階床伏図エスキース）										
7	設計製図（2階床伏図作図）										
8	設計製図（小屋伏図エスキース）										
9	設計製図（小屋伏図作図）										
10	設計製図（天井伏図エスキース）										
11	設計製図（天井伏図作図）										
12	設計製図（軸組図エスキース）										
13	設計製図（軸組図作図）										
14	設計製図（建具表作図）										
15	図面提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて5年間の設計業務経験								

科目名	雑貨演習Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	1.5	開講期	3	
担当教員	矢加部 徳公		企業連携	—	科略	IP	学生	2年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	石膏型作りとそれを用いた制作方法を学びます。排泥鑄込みと型押しで置きを作ります。											
到達目標	イメージから作品化完成までのプロセスをたどることができる。土と型の性質を理解することで、造形の広がりを知ることができる。											
	授業計画と内容											
1	アイディアスケッチ											
2	アイディアスケッチ 原型制作											
3	原型制作 石膏取り											
4	制作											
5	制作											
6	素焼き											
7	本焼き											
8	講評 プレゼンテーション											
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0%	10%	40%	0%	0%	40%						
使用教材・教具												
履修時の注意	汚れてもよい格好が望ましい。											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	陶芸家としてのキャリアをベースに指導をしていく。									

科目名	ジュエリー演習Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	1.5	開講期	3期
担当教員	武田 新	企業連携	—	科目	IP	学年	2年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	蝋型鋳造（ロスト・ワックスキャストイング）、原型制作から鋳込み・仕上げまで										
到達目標	ロスト・ワックス鋳造の原理・方法を理解。鋳造で作るべき型の把握。										
	授業計画と内容										
1	ロストワックス授業と平行して一輪挿しを制作する。										
2	(3期授業時間相当の作品)										
3	〃										
4	〃										
5	〃										
6	〃										
7	〃										
8	試験										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	60%	0%	10%	30%					
使用教材・教具											
履修場の注意	鋳込みのみ 外注する場合あり										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営。								

科目名	進級制作Ⅱ①			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科略	IP	学年	2 年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	2 年間の集大成である進級制作（個人制作）を行う。										
到達目標	情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。										
	授業計画と内容										
1	進級制作エスキース										
2	進級制作エスキース										
3	進級制作エスキース										
4	進級制作（平面・断面計画完了）										
5	進級制作（スタディー模型制作完了）										
6	進級制作（平面・断面 CAD 入力完了）										
7	進級制作（プレゼンボードイメージ確定）										
8	進級制作（模型イメージ確定）										
9	球技大会										
10	進級制作（本制作）										
11	進級制作（本制作）										
12	進級制作（本制作）										
13	進級制作（本制作）										
14	進級制作（本制作）										
15	合評会										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	進級制作Ⅱ②			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	材料	IP	半年	2 年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	2 年間の集大成である進級制作（個人制作）を行う。										
到達目標	情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。										
	授業計画と内容										
1	進級制作エスキース										
2	進級制作エスキース										
3	進級制作エスキース										
4	進級制作（平面・断面計画完了）										
5	進級制作（スタディー模型制作完了）										
6	進級制作（平面・断面 CAD 入力完了）										
7	進級制作（プレゼンボードイメージ確定）										
8	進級制作（模型イメージ確定）										
9	進級制作（本制作）										
10	進級制作（本制作）										
11	進級制作（本制作）										
12	進級制作（本制作）										
13	進級制作（合評会準備）										
14	進級制作（合評会準備）										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	40 %	0 %	60 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	進級制作Ⅱ②			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	4期
担当教員	村上 愛	企業連携	—	科略	IP	学生	2年	コマ数	4	曜日	火
授業内容	各自の計画したスケジュールに従って制作を進めます。										
到達目標	制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫することを忘れず制作に取り組むことができるようになる。										
	授業計画と内容										
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	制作過程報告 / 計画書提出										
10	作品制作										
11	作品制作										
12	作品制作										
13	作品制作										
14	作品制作										
15	合評会 搬入準備 プレゼン練習										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	0 %	0 %	50 %	50 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	進級制作Ⅱ③			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	4期
担当教員	坂田 圭	企業連携	—	材料	IP	学年	2年	コマ数	4	曜日	木
授業内容	各自の計画したスケジュールに従って制作を進めます。										
到達目標	制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫することを忘れず制作に取り組むことができるようになる。										
	授業計画と内容										
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	制作過程報告 / 計画書提出										
10	作品制作										
11	作品制作										
12	作品制作										
13	作品制作										
14	作品制作										
15	合評会 搬入準備 プレゼン練習										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	0 %	0 %	50 %	50 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	基本的にこの実習授業中では制作を行い手を動かすこと。考えることはこの授業外で。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	グラフィックデザインや金属小物・アクセサリ製作業で自衛独立し 20 年の活動								

科目名	進級制作Ⅱ④			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	4期
担当教員	牧野 雄理	企業連携	—	科略	IP	学年	2年	コマ数	4	曜日	水
授業内容	各自の計画したスケジュールにしたがって制作を進める。										
到達目標	制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫する事を忘れずに制作に取り組む事ができるようになる。										
	授業計画と内容										
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	制作経過報告・計画書提出										
10	作品制作①										
11	作品制作②										
12	作品制作③										
13	作品制作④										
14	作品制作⑤										
15	合評会搬入準備・プレゼン練習										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	0%	50%	50%					
使用教材・教具											
履修時の注意	基本授業では制作を行ない手を動かす事。考える作業は授業外で。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要									

科目名	進級制作Ⅱ⑤			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	4期
担当教員	秋岡 昌彦	企業連携	—	科目	IP	学年	2年	コマ数	4	曜日	月
授業内容	中間報告会での気づきをふまえ、各自で修正、詳細の計画、試作、本制作などをおこなう。										
到達目標	自分で取り組むべき課題が明確になり、次年度の就職活動における代表的作品として紹介する具体的なものができる。										
	授業計画と内容										
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	本制作										
10	本制作										
11	本制作										
12	本制作										
13	本制作										
14	本制作										
15	制作展に向けての活動										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	10%	0%	0%	0%	50%	40%					
使用教材・教具											
履修場の注意	他の授業と連動して複数の教員で進行する。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具メーカーで製品開発に携る経験を元に授業を実施する。								

科目名	スペースデザイン演習Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	山本 治彦	企業連携	—	科略	IP	学年	2 年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	前半はワンデーエクササイズを中心にコンセプト作りからプレゼンテーションまでの作業をグループにて行う。他校との競争の中で自分たちを試したい。そしてその流れで進級制作に連続させる。										
到達目標	わかりやすく、インパクトのあるプレゼンテーションで相手を納得させることができるようになる。そして自分の作品の良いところを率直に顧みることができる。										
	授業計画と内容										
1	ワンデーエクササイズのコンセプト作り。										
2	エスキース										
3	エスキース										
4	作図・模型										
5	プレゼンテーション練習										
6	作品官製・発表・反省										
7	進級制作コンセプト再考										
8	エスキース（プレゼンボード・模型の予想）										
9	エスキースの完成										
10	作図・制作										
11	作図・制作										
12	作図・制作										
13	プレゼンテーションの目玉を考える										
14	プレゼンテーション										
15	修正										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	20 %	20 %	50 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具	製図道具・模型製作用具 etc										
履修時の注意	ワンデーエクササイズは自分の作品としての意識を常を持って取り組んでほしい。誰かがやるというのではだめ。私がやるんだ決めるんだという気概で行ってほしいと思います。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系建築設計事務所勤務の後一級建築士事務所主宰。住宅を中心に設計活動。								

科目名	ゼミⅡ			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1.5	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	○	科略	IP	学生	2年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ等の学外イベントへの参加および進級制作対応										
到達目標	課題発見力、情報収集力、表現力、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につけることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
2	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
3	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
4	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
5	デザインフェスタ対応										
6	デザインフェスタ対応										
7	デザインフェスタ対応										
8	デザインフェスタ対応										
9	球技大会										
10	進級制作対応										
11	進級制作対応										
12	進級制作対応										
13	進級制作対応										
14	進級制作対応										
15	合評会作品搬入										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	60%	0%	20%	20%					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて5年間の設計業務経験								

科目名	パースペクティブ①			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	内田 里美	企業連携	—	科属	IP	学年	2年	コマ数	2	曜日	月
授業内容	一点透視の書き方を最終的に理解出来る様にする。まずは手描きで空間を描いてみる。そして一点透視の手順に移す。窓や扉や家具の空間の中に入れて描けるようにする。その中で空間作成の感覚を身に着ける。										
到達目標	一点透視図を習得し、図面をみたときや頭の中にあるものをパースで表現出来る様にする。将来クライアント等の打ち合わせ時に言葉では表せない空間の表現を伝える力を持てれるようになる。										
	授業計画と内容										
1	授業内容説明										
2	演習 空間のトレース①										
3	演習 空間のトレース②										
4	演習 一点透視の描き方										
5	演習 課題①										
6	演習 課題①										
7	演習 課題②										
8	演習 課題②										
9	演習 課題③										
10	演習 課題③										
11	演習 課題④										
12	演習 課題④										
13	演習 課題⑤										
14	演習 課題⑤										
15	出力・課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%					
使用教材・教具	ノートパソコン										
履修者の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。								

科目名	プレゼンテーションⅡ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	藤原 敏嗣	企業連携	—	科略	IP	学生	2 年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	Illustrator・Photoshop を使用してのデザインデータ制作・印刷用データの制作										
到達目標	Illustrator・Photoshop のパネル・フライヤー等の DTP 制作とプレゼンテーション力の修得進級制作のプレゼンテーションボードの制作 [A0 サイズ]										
	授業計画と内容										
1	Illustrator・Photoshop のデザイン演習										
2	↓										
3	↓										
4	↓										
5	↓										
6	↓										
7	↓										
8	進級制作プレゼンボード・説明パネル等のデザインプランニング										
9	進級制作プレゼンテーションボード制作										
10	↓										
11	↓										
12	↓										
13	入稿データ制作・制作発表プレゼンテーションプランニング										
14	プレゼンテーション実習										
15	作品展示用補足ボード・資料等の制作										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	20 %	30 %	0 %	30 %	20 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	各自のラップトップを使用、マウス必須（ラップトップ・マウス・電源アダプター等は必ず持参すること）										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	プロダクトから WEB まで 15 年以上の国内外ブランドのデザイン経験								

科目名	プロダクト展示Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	3期
担当教員	村上 愛・秋岡 昌彦	企業連携	—	科略	IP	学生	2年	コマ数	4	曜日	火
授業内容	プロダクト販売と連動し、展示効果や搬出入のことを考慮して、ディスプレイの設計・制作をする。										
到達目標	グループの中で自分の力を活かす工夫が出来るようになる。										
	授業計画と内容										
1	会計資料作成①（個人用）、販売グッズ制作②、ディスプレイ制作②										
2	販売グッズ制作④、ディスプレイ制作④										
3	販売グッズ修正②、ディスプレイ修正②										
4	販売グッズ修正④、ディスプレイ修正④										
5	13：10～ デザフェス最終確認、荷造り										
6	デザインフェスタ										
7	会計資料作成③（伝票書類練習「見積書・納品書・請求書」、返金作業）、報告会準備										
8	技法研究Ⅰ										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	50 %	10 %	30 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	プロダクト販売Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	3期
担当教員	村上 愛・三島 奈津希	企業連携	—	科略	IP	学年	2 年	コマ数	4	曜日	水
授業内容	チームで協力し、作品を向上させるアイテムの制作。会計資料作成から資金面の流れを学ぶ。販売マナーを学ぶ。										
到達目標	役割を経験し、完成度の高い展示会ができるようになる。コミュニケーション能力を高めることができる。										
	授業計画と内容										
1	写真撮影、販売グッズ制作①、ディスプレイ制作①、取説案提出・名刺案提出・ユニフォーム案提出・パッケージサンプル案提出										
2	販売グッズ制作③、ディスプレイ制作③										
3	10：30～ 展示販売シミュレーション・作品説明、販売グッズ修正①、ディスプレイ修正①										
4	接客指導、販売グッズ修正③、ディスプレイ修正③										
5	販売グッズ修正⑤、ディスプレイ修正⑤										
6	会計資料作成②（個人用計算、収支報告書）、報告会準備										
7	10：30～ デザフェス報告会、報告書（会社用、個人用ファイル）提出										
8	技法研究 2、技法研究 3										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	50 %	10 %	30 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	ライフデザイン④			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	○	科際	IP	学年	2 年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	担任やクラスメイトとの情報交換、面談と通じて、各自の目標に向けた学生生活を送れるよう計画、振り返りをする。										
到達目標	企画力、計画性、協調性、グループワーク能力を高め、社会に適応する力を身につける。										
	授業計画と内容										
1	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
2	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
3	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
4	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
5	デザインフェスタ対応										
6	デザインフェスタ対応										
7	デザインフェスタ対応										
8	デザインフェスタ対応										
9	球技大会										
10	進級制作対応										
11	進級制作対応										
12	進級制作対応										
13	進級制作対応										
14	進級制作対応										
15	合評会										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	60 %	0 %	20 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修者の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								

科目名	3DCG 演習Ⅱ-a			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	藤原 敏嗣	企業連携	—	時期	IP	学年	3年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	サンプルモデルの企画設計制作										
到達目標	・ 3D モデリングの基本技術の習得、Illustrator・Photoshop の実践技術の習得 ・ サンプルモデルの企画・設計・製作										
	授業計画と内容										
1	オリエンテーション・ソフトウェアインストール										
2	3D モデリングソフトの基本操作・ラフデザイン案構想										
3	↓										
4	↓										
5	デザインミーティング・デザイン案確定										
6	企画書製作										
7	サンプルモデル設計図面の作成										
8	↓										
9	サンプルモデル製作										
10	↓										
11	↓										
12	↓										
13	フライヤーデータの作成										
14	↓										
15	完成発表										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	40%	0%	30%	30%					
使用教材・教具	各自のコンピューター ※マウス必須										
履修場の注意	各自のラップトップを使用、マウス必須（ラップトップ・マウス・電源アダプター等は必ず持参すること）										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	プロダクトから WEB まで 15 年以上の国内外ブランドのデザイン経験								

科目名	3DCG 演習Ⅱ -b			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業連携	—	科略	IP	学年	3 年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	ARCHICAD の操作実習と過去の名建築の図面をトレースすることで活用法を理解する。										
到達目標	・ ARCHICAD の習得を通して、3D CAD をマスターし、BIM の概念について理解する。										
	授業計画と内容										
1	・ ARCHICAD の操作を習得して今後の製図に活かす。										
2	オリエンテーション ソフトのダウンロード等 BIM でできること（講義）										
3	Archicad とガイドラインの概要										
4	1F モデルを作成（1）										
5	1F モデルを作成（2）										
6	各階の作成とモデルの仕上げ（1）										
7	各階の作成とモデルの仕上げ（2）										
8	各階の作成とモデルの仕上げ（3）										
9	モデルから図面へ										
10	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（1）										
11	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（2）										
12	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（3）										
13	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（4）										
14	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（5）										
15	名作住宅のトレースと 3D モデルの作成（6）										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	50 %	0 %	50 %	0 %					
使用教材・教具	Archicad 2 6 ではじめる BIM 設計入門（企画設計編）										
履修時の注意	前半は教科書を使用して説明を行うので、必ず教科書を忘れないこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計の実務を 2 0 年以上行っている経験を生かして授業を行う。								

科目名	CAD II			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	内田 里美	企業連携	—	科属	IP	半年	3 年	コマ数	2	曜日	月
授業内容	作図を通して図面全体の構成と各図の役割を理解し、設計の内容を正確に理解し表現するための CAD 技術を習得する。										
到達目標	図面読解力、実務での使用に耐えうる正確な図面・設計作業に不可欠なスケール感覚を養うことを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明										
2	CAD 基本操作の復習と用紙・縮尺の設定										
3	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成①（構造図の解説と躯体の作図）										
4	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成①（1 階平面図の転用と修正①）										
5	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成②（詳細図の解説と仕上げの作図）										
6	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成②（1 階平面図の転用と修正②）										
7	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成③（外壁タイル割りと外部建具の作図）										
8	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成③（1 階平面図の転用と修正③）										
9	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成④（内部各所と建具の作図）										
10	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成④（内部各所と建具の作図①）										
11	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成⑤（床仕上げの作図）										
12	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成⑤（内部各所と建具の作図②）										
13	RC コミュニティーセンター 1 階平面図の作成⑥（家具・寸法・室名の記入）										
14	RC コミュニティーセンター 2 階平面図の作成⑥（家具・寸法・室名の記入）										
15	課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	2 級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。								

科目名	インテリアコーディネーター演習Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科略	IP	学年	3 年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	教科書を中心に、インテリアの歴史、計画、各エレメントについて学習する。										
到達目標	資格取得への意欲獲得。インテリアの仕事についての理解を深め、空間デザインの楽しさを体感することができる。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明										
2	インテリアコーディネーターの誕生とその背景										
3	インテリアコーディネーターの仕事										
4	インテリアの歴史①（日本）										
5	インテリアの歴史②（西洋）										
6	インテリアコーディネーションの計画①（検討事項）										
7	インテリアコーディネーションの計画②（生活場面の構成手法）										
8	インテリアコーディネーションの計画③（リフォームの計画）										
9	インテリアエレメント・関連エレメント①（インテリアエレメント）										
10	インテリアエレメント・関連エレメント②（住宅用家具）										
11	インテリアエレメント・関連エレメント③（造作部品）										
12	インテリアエレメント・関連エレメント④（ウインドートリートメント）										
13	インテリアエレメント・関連エレメント⑤（カーペット）										
14	インテリアエレメント・関連エレメント⑥（インテリアオーナメント・アート）										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	20 %	60 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	インテリア設計演習			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	香山 安武	企業連携	—	科属	IP	学卒	2 年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	実務知識の習得・想像力の向上を目的に、限られた空間の中にインテリア演習をしながら課題設計を行う。										
到達目標	内装から家具・照明などインテリア空間を総合的にイメージ・設計をできるようになること。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明・設計の組み立てとプランの進め方について										
2	実習①（既存図面トレース）										
3	実習②（既存図面トレース）										
4	実習③（平面プラン計画）										
5	実習④（平面プラン仕上げ）										
6	実習⑤（展開図作成）										
7	実習⑥（照明計画）										
8	実習⑦（スケッチパース作成）										
9	実習⑧（スケッチパース仕上げ）										
10	実習⑨（プレゼンボード作成）										
11	実習⑩（プレゼンボード作成）										
12	実習⑪（プレゼンボード作成）										
13	実習⑫（プレゼンボード作成）										
14	実習⑬（プレゼンボード仕上げ）										
15	作品提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	・ 文具一式 ・ 色鉛筆、マーカー等色付け具 ・ CAD 入りパソコン ・ スケッチブック										
履修場の注意	課外授業（実例の見学等）を行う事があります。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系設計事務所にて7年住宅設計・店舗設計に携わり独立して5年設計事務所として活動しています。								

科目名	インテリア設計演習			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	香山 安武	企業連携	—	科属	IP	学卒	3年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	実務知識の習得・想像力の向上を目的に、限られた空間の中にインテリア演習をしながら課題設計を行う。										
到達目標	内装から家具・照明などインテリア空間を総合的にイメージ・設計をできるようになること。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明・設計の組み立てとプランの進め方について										
2	実習①（既存図面トレース）										
3	実習②（既存図面トレース）										
4	実習③（平面プラン計画）										
5	実習④（平面プラン仕上げ）										
6	実習⑤（展開図作成）										
7	実習⑥（照明計画）										
8	実習⑦（スケッチパース作成）										
9	実習⑧（スケッチパース仕上げ）										
10	実習⑨（プレゼンボード作成）										
11	実習⑩（プレゼンボード作成）										
12	実習⑪（プレゼンボード作成）										
13	実習⑫（プレゼンボード作成）										
14	実習⑬（プレゼンボード仕上げ）										
15	作品提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%					
使用教材・教具	・ 文具一式 ・ 色鉛筆、マーカー等色付け具 ・ CAD 入りパソコン ・ スケッチブック										
履修場の注意	課外授業（実例の見学等）を行う事があります。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系設計事務所にて7年住宅設計・店舗設計に携わり独立して5年設計事務所として活動しています。								

科目名	家具演習Ⅲ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	秋岡 昌彦	企業連携	—	科期	IP	学年	3 年	コマ数	3	曜日	月
授業内容	箱ものの家具をデザインし、設計する。作る過程では扉や引き出しなどを心地よく使えるように取り付けるコツなどを体得する。										
到達目標	扉、引き戸、引き出しのしくみを理解し、デザインができるようになる。										
	授業計画と内容										
1	オリエンテーション／課題内容説明										
2	アイデアスケッチ、制作物決定										
3	1 / 5モデル作成										
4	1 / 5モデル作成										
5	作図										
6	作図										
7	材料手配										
8	木取り、製材										
9	スミ付け、部品加工										
10	部品加工										
11	部品加工										
12	仮組み、微調整、本組み										
13	素地調整、塗装										
14	塗装										
15	合評、まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %					
使用教材・教具	・クロッキー帳・方眼紙（A3）、製図用具										
履修場の注意	材料は各自で手配します。作業に適応した服装で授業に臨むこと。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具メーカーで製品開発に携る経験を元に授業を実施する。								

科目名	建築製図Ⅲ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	2	曜日	月
授業内容	鉄筋コンクリート構造のトレースによって各図面を理解するとともに、建築的条件のもと、これまでの住宅のプランニングから、公共的施設であるコミュニティセンターを自らプランニングしたものを、各図面で表現する。										
到達目標	公共施設であるコミュニティセンターのあり方を設計製図演習によって理解し、自らが設計した空間の「考え方」を図面または言語で第三者へ伝えることができるプレゼンテーション能力を習得することを目指す。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（製図の基本⑤）										
2	配置図トレース										
3	1階平面図トレース										
4	2階平面図トレース										
5	立・断面図トレース										
6	矩計図トレース①										
7	矩計図トレース②										
8	設計製図（平面図エスキース）										
9	設計製図（1・2階平面図作図）										
10	設計製図（立・断面図エスキース）										
11	設計製図（立・断面図作図）										
12	設計製図（配置図作図）										
13	設計製図（矩計図①）										
14	設計製図（矩計図②）										
15	図面提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	80%	0%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修時の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて5年間の設計業務経験								

科目名	建築設備			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業連携	—	材料	IP	半年	2 年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	現在の建築において欠かすことのできない重要な役割をもっている空調・給排水衛生・電気等の建築設備全般についての講義を行う。										
到達目標	建築設備について、各設備の特徴や基礎的な事項を習得し、建築との相互理解を深めることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（建築設備概要）										
2	空気調和設備①（概要・設備負荷について）										
3	空気調和設備②（計画と方式について）										
4	空気調和設備③（機器と材料について）										
5	空気調和設備④（換気設備・排煙設備について）										
6	給排水衛生設備①（概要・給排水設備について）										
7	給排水衛生設備④（通気設備について）										
8	給排水衛生設備⑤（衛生器具について）										
9	給排水衛生設備⑥（消火設備について）										
10	給排水衛生設備⑦（し尿浄化槽設備について）										
11	電気設備①（概要・電気設備について）										
12	電気設備②（照明設備について）										
13	電気設備③（通信情報設備について）										
14	電気設備④（昇降機設備について）										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	0 %	80 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修者の注意	2 級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996 年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽設計事務所代表取締役。								

科目名	建築設備			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業連携	—	材料	IP	学卒	2・3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	現在の建築において欠かすことのできない重要な役割をもっている空調・給排水衛生・電気等の建築設備全般についての講義を行う。										
到達目標	建築設備について、各設備の特徴や基礎的な事項を習得し、建築との相互理解を深めることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（建築設備概要）										
2	空気調和設備①（概要・設備負荷について）										
3	空気調和設備②（計画と方式について）										
4	空気調和設備③（機器と材料について）										
5	空気調和設備④（換気設備・排煙設備について）										
6	給排水衛生設備①（概要・給排水設備について）										
7	給排水衛生設備④（通気設備について）										
8	給排水衛生設備⑤（衛生器具について）										
9	給排水衛生設備⑥（消火設備について）										
10	給排水衛生設備⑦（し尿浄化槽設備について）										
11	電気設備①（概要・電気設備について）										
12	電気設備②（照明設備について）										
13	電気設備③（通信情報設備について）										
14	電気設備④（昇降機設備について）										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽設計事務所代表取締役。								

科目名	建築法規			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業 連携	—	科略	IP	学年	2 年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	建築物の災害から国民の生命、健康、財産などの保護をするために建築物の最低基準を中心に、建築士法・建設業法等の関連法令を学ぶ。										
到達目標	建築の企画、設計、建築工事の過程に直接関係するルールを定めている建築基準法の基礎的事項を理解し、建築関係職種の技術者としての基礎的な知識の習得を目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（建築法規概要）										
2	用語の定義										
3	面積・高さの算定										
4	建築手続き										
5	防火・避難										
6	内装制限										
7	道路										
8	用途地域										
9	容積率										
10	建ぺい率										
11	斜線制限										
12	日影規制										
13	建築士法										
14	建設業法										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	0 %	80 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修者の注意	2 級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996 年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽設計事務所代表取締役。								

科目名	建築法規			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前期
担当教員	丹羽 雅人	企業 連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	建築物の災害から国民の生命、健康、財産などの保護をするために建築物の最低基準を中心に、建築士法・建設業法等の関連法令を学ぶ。										
到達目標	建築の企画、設計、建築工事の過程に直接関係するルールを定めている建築基準法の基礎的事項を理解し、建築関係職種の技術者としての基礎的な知識の習得を目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明（建築法規概要）										
2	用語の定義										
3	面積・高さの算定										
4	建築手続き										
5	防火・避難										
6	内装制限										
7	道路										
8	用途地域										
9	容積率										
10	建ぺい率										
11	斜線制限										
12	日影規制										
13	建築士法										
14	建設業法										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽設計事務所代表取締役。								

科目名	コンセプトメイキングⅡ			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科略	IP	学年	3年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	前半は、卒業制作に向けたコンセプトメイキングを行い、後半は、中間報告会に向けての制作を行い自主性を強化する。										
到達目標	コンセプトに沿った企画、立案、計画を自らが立てる力を身につける。										
	授業計画と内容										
1	2年次(進級制作Ⅱ)の振り返り										
2	卒業制作コンセプトメイキングに向けての準備シート配布										
3	準備シート提出										
4	卒業制作テーマ研究①										
5	卒業制作テーマ研究②										
6	コンセプトシート配布→作成										
7	スケジュール表配布→作成										
8	コンセプトシート・スケジュール表提出										
9	制作内容検討①										
10	制作内容検討②										
11	制作内容検討③中間報告会用コンセプトシート配布										
12	夏期休暇中の計画確認										
13	中間報告会準備①、中間報告会用コンセプトシート提出										
14	中間報告会準備②										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	40%	40%	0%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて5年間の設計業務経験								

科目名	雑貨演習Ⅲ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	黒住 泰子・牧野 雄理	企業連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	各技法の基礎の実習と、技法を応用した作品制作										
到達目標	各技法の基礎技術の習得										
	授業計画と内容										
1	ガラス工芸の歴史と技法研究										
2	各技法の制作手順研究と技法別グループ編成										
3	下絵を描き、材料・用具の確認と購入計画作成										
4	作品制作①										
5	作品制作②										
6	作品制作③										
7	作品制作④										
8	作品発表、課題提出										
9	基礎 課題 染色、スタンピングを行ってコースターの製作										
10	基礎 課題 内縫い、ファスナーの取り付けを行ってペンケースの製作										
11	基礎 課題 内縫い、ファスナーの取り付けを行ってペンケースの製作										
12	基礎 課題 ⑨、⑩、⑪の授業で学習した技術を使って、ポーチ or ミニバックの製作										
13	基礎 課題 製作時間										
14	基礎 課題 製作時間										
15	課題提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	15 %	10 %	55 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	グループ編成後連絡 安全に配慮して、材料・用具を扱い、協力して作品制作する										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	造形分野の作家として展示会やワークショップの経験豊富								

科目名	ジュエリー演習Ⅰ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	前期
担当教員	武田 新	企業連携	—	材料	IP	学年	2年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	制作の段取り（作業を進める順序）重視、コスト計算、プレゼンテーション方法										
到達目標	商品となりうる作品の制作。完成品の完全なイメージが描けるようにする。										
	授業計画と内容										
1	異種材料の組合せ作品制作										
2	象眼について（インレイ・オーバーレイ）										
3	堅木に真鍮を埋め込む作品（ペンダントヘッド）										
4	粹加工										
5	//										
6	ベルト・バックル 制作										
7	種類・構造・機能について										
8	制作										
9	球技大会										
10	制作										
11	ロスト・ワックス鑄造の原理・鑄込み・種類・方法										
12	制作（原型づくり・仕上げまで）										
13	//										
14	課題作品批評										
15	試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	60%	0%	10%	30%					
使用教材・教具											
履修場の注意	デザインが自由になる為、2年生より材料調達は原則個人で行う。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営。								

科目名	スペースデザイン演習Ⅲ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	前期
担当教員	山本 治彦	企業 連携	—	経路	IP	学年	3年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	表町の現在は駐車場になっている場所を借用し、何ができるか可能性を追求してほしいと思います。										
到達目標	その場所に何を作るのが良いかを提案し、構造を選択し、計画を行う。										
	授業計画と内容										
1	出来れば現地の下見に行きたいと思います。										
2	何を作るか考える。										
3	↓										
4	エスキース										
5	↓										
6	↓										
7	エスキースを決定し作図に。										
8	作図										
9	↓										
10	↓										
11	↓										
12	完成予想図・模型製作										
13	↓										
14	↓										
15	講評会										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	30 %	50 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具	製図用具・模型製作用具・彩色用具・パソコン etc										
履修者の注意	これからの地方都市のを社会の在り方を含めて考える事。隣接している衛生道路をどういう風に利用するかがポイントとなる計画であるよう考えてほしいと思います。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系建築設計事務所勤務の後一級建築士事務所主宰。住宅を中心に設計活動。								

科目名	ゼミⅢ			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1.5	開講期	前期
担当教員	中山 裕志	企業連携	○	科略	IP	学年	3年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	コンペへの応募、課題制作、展覧会の見学、技術や素材、インテリア・建築デザインに関する実践研究などをおこなう。										
到達目標	インテリア・建築の計画、法規、施工、構造について知的好奇心を働かせ、吸収しようとする姿勢を身につける。 課題発見力、情報収集力、空間表現、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につける。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明										
2	課題「私の好きな美術館 - その解釈」の課題内容説明										
3	題材とする美術館の選定										
4	制作①										
5	制作②										
6	制作③										
7	制作④→課題提出（プレゼンテーション）										
8	フィールドワーク①										
9	フィールドワーク②										
10	第 29 回ワンデーエクササイズ概要について										
11	フィールドワーク③										
12	フィールドワーク④										
13	第 29 回ワンデーエクササイズグループディスカッション①										
14	第 29 回ワンデーエクササイズグループディスカッション②										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	40 %	40 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	計 4 回分の授業を使って校外見学を 2 回程度実施します。※日程はその都度連絡します。休日を利用する場合あり。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	卒業制作計画			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	前
担当教員	山本 治彦	企業連携	—	科略	IP	学年	3年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	卒業制作に向けての準備から実際の中間報告会のプレゼンテーションに向けてコンセプト作り・場所の選定・計画を進めていきたいと思っています。										
到達目標	中間報告会の資料作りとコンセプト作り。										
	授業計画と内容										
1	2年次進級制作反省会										
2	[私の建築的体験]というレポートを書く										
3	↓										
4	レポートの発表会										
5	卒業制作の構想を練る										
6	↓										
7	↓										
8	コンセプトを考える										
9	↓										
10	↓										
11	コンセプトと構想から計画に										
12	↓										
13	↓										
14	中間発表の制作										
15	↓										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	20 %	40 %	0 %	30 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系建築設計事務所に勤務の後一級建築士事務所主宰、住宅を中心に活動。								

科目名	プロダクト企画Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	1期
担当教員	村上 愛・三島 奈津希	企業連携	—	科略	IP	学年	3年	コマ数	4	曜日	水
授業内容	企画・制作・販売の一連の流れを考えた上での、ショップ企画・商品企画・商品サンプル制作をする。										
到達目標	企画・制作・販売の一連の流れを考えた上での、ショップ企画・商品企画・商品サンプル制作をする。										
	授業計画と内容										
1	オリエンテーション、授業内容・課題内容・価格設定の説明、商品とショップのリサーチ										
2	リサーチ報告会（午前）、デザイン案①（午後）、商品企画書										
3	デザイン案②、ショップ・担当決定、LINE グループ開設（各ショップ用、社長 & 副社長用）										
4	ショップ企画（午前）、ショップ名・コンセプト決定、Twitter アカウント開設（全体用）、Instagram アカウント開設（各ショップ用）、ロゴ・ディスプレイのイメージ、会計資料の説明（領収書の保管）、デザイン案修正（午後）										
5	サンプル制作①										
6	サンプル制作②、商品企画書最終										
7	10：30～ 計画発表会、サンプル修正①										
8	サンプル修正②、ロゴ提出、ディスプレイ案提出、商品制作計画&実施記録										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	10 %	50 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を 10 年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	プロダクト制作Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	2期
担当教員	村上 愛・三島 奈津希	企業連携	—	科略	IP	学年	3年	コマ数	4	曜日	水
授業内容	1期のプロダクト企画に基づいて、最適な材料や制作方法を考慮し、効率よく商品制作をする。										
到達目標	表現に適した材料や技法を選択し、計画的に制作出来るようになる。										
	授業計画と内容										
1	商品制作①										
2	商品制作②										
3	商品制作③										
4	商品制作④										
5	商品制作⑤										
6	商品制作⑥										
7	商品提出（午前）、取説・名刺のフォーマット配布、ディスプレイ図面・材料購入計画作成										
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	30 %	10 %	50 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	ライフデザイン⑤			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	前期	
担当教員	中山 裕志		企業連携	○	科際	IP	学年	3 年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	担任やクラスメイトとの情報交換、面談を通じて、各自の目標に向けた学生生活を送れるよう計画、振り返りをする。											
到達目標	企画力、計画性、協調性、グループワーク能力を高め、社会に適応する力を身につける。											
	授業計画と内容											
1	授業概要説明											
2	個人面談①就職活動準備①											
3	個人面談②就職活動準備②											
4	個人面談③就職活動準備③											
5	個人面談④就職活動準備④											
6	個人面談⑤就職活動準備⑤											
7	球技大会準備①											
8	球技大会準備②											
9	デザインフェスタ対応①											
10	デザインフェスタ対応②											
11	デザインフェスタ対応③											
12	卒業制作中間報告会準備①											
13	卒業制作中間報告会準備②											
14	卒業制作中間報告会準備③											
15	夏期休暇についての直前指導											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	60%	0%	20%	0%	20%	0%						
使用教材・教具												
履修場の注意	学生生活に関する連絡、行事の準備活動、進路に関することを本授業にておこなう。											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要		—								

科目名	家具演習Ⅳ			分類	専門	形態	演習	単位数	1.5	開講期	3期	
担当教員	秋岡 昌彦		企業連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	3	曜日	月
授業内容	今まで習得した知識、技能を更に発展させ、自ら設定した目標に向かって制作活動を行います。教員に報告、確認をしながら進める事も重要になります。											
到達目標	・今まで習った技術から新たに課題を見つけ出すことができる。 ・成果の予測をし、実現するためにやるべきことや工程を計画することができる。											
	授業計画と内容											
1	課題設定											
2	成果の予測と計画											
3	実践内容企画											
4	制作①											
5	制作②											
6	制作③											
7	制作④											
8	発表											
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0 %	0 %	100 %	0 %	0 %	0 %						
使用教材・教具	・クロッキー帳・方眼紙（A3）、製図用具											
履修時の注意	粉塵、危険を伴う作業をおこないます。安全に作業できる服装で授業に臨むこと。											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具メーカーで製品開発に携る経験を元に授業を実施する。									

科目名	建築環境			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	後期
担当教員	丹羽 雅人	企業連携	—	材料	IP	学卒	2年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	建築物を取り巻く自然環境と都市環境に関する基本的要素と、その中で快適な室内環境を作り出すために必要な方法など建築環境の基本的な事項を学ぶ。										
到達目標	建築計画の建築と自然環境・都市環境との関連について習得し、快適な環境を作り出すために必要なプラン作成など実際に活用する能力と姿勢を育てることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明①（建築環境概要）										
2	授業概要説明②（自然の中の建築、都市の中の建築について）										
3	気候①（外部気候）										
4	気候②（内部気候）										
5	伝熱と結露①（伝熱）										
6	伝熱と結露②（結露）										
7	換気と通気（室内の空気汚染）										
8	日照と日射①（日照と住環境）										
9	日照と日射②（太陽の位置）										
10	採光・照明と色彩①（測光量）										
11	採光・照明と色彩②（視覚と見やすさ）										
12	音環境①（音の性質）										
13	音環境②（遮音と吸音）										
14	都市環境										
15	筆記試験										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%					
使用教材・教具											
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽建築設計事務所代表取締役。								

科目名	建築環境			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	後期	
担当教員	丹羽 雅人		企業連携	—	材料	IP	半年	3年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	建築物を取り巻く自然環境と都市環境に関する基本的要素と、その中で快適な室内環境を作り出すために必要な方法など建築環境の基本的な事項を学ぶ。											
到達目標	建築計画の建築と自然環境・都市環境との関連について習得し、快適な環境を作り出すために必要なプラン作成など実際に活用する能力と姿勢を育てることを目標とする。											
	授業計画と内容											
1	授業概要説明①（建築環境概要）											
2	授業概要説明②（自然の中の建築、都市の中の建築について）											
3	気候①（外部気候）											
4	気候②（内部気候）											
5	伝熱と結露①（伝熱）											
6	伝熱と結露②（結露）											
7	換気と通気（室内の空気汚染）											
8	日照と日射①（日照と住環境）											
9	日照と日射②（太陽の位置）											
10	採光・照明と色彩①（測光量）											
11	採光・照明と色彩②（視覚と見やすさ）											
12	音環境①（音の性質）											
13	音環境②（遮音と吸音）											
14	都市環境											
15	筆記試験											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0%	0%	0%	80%	20%	0%						
使用教材・教具												
履修者の注意	2級建築士受験に関わる指定科目											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	1996年より設計事務所勤務を経て、現在丹羽建築設計事務所代表取締役。									

科目名	建築製図Ⅳ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	科目	IP	学年	3 年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	卒業制作の計画のエスキースおよび CAD 入力→ dxf 変換→イラストレーターでのプレゼンボード作成										
到達目標	卒業制作で計画したものの図面（配置図・平面図・立面図・断面図）を基本に正確に描けることができるようになることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明										
2	卒業制作エスキース①										
3	卒業制作エスキース②										
4	卒業制作エスキース③										
5	卒業制作エスキース④										
6	卒業制作図面作成（CAD 入力）①										
7	卒業制作図面作成（CAD 入力）②										
8	卒業制作図面作成（CAD 入力）③										
9	卒業制作図面（dxf 変換）										
10	卒業制作図面（イラストレーターにてプレゼンボード作成）①										
11	卒業制作図面（イラストレーターにてプレゼンボード作成）②										
12	卒業制作図面（イラストレーターにてプレゼンボード作成）③										
13	データ入稿準備										
14	データ入稿										
15	提出										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	雑貨演習Ⅳ			分類	専門	形態	演習	単位数	1.5	開講期	3 期
担当教員	矢加部 徳公	企業連携	—	材料	IP	手拵	3 年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	石膏型作りとそれを用いた制作方法を学びます。排泥鋳込みと型押しで置きを作ります。										
到達目標	イメージから作品化完成までのプロセスをたどることができる。土と型の性質を理解することで、造形の広がりを知ることができる。										
	授業計画と内容										
1	アイディアスケッチ										
2	アイディアスケッチ 原型制作										
3	原型制作 石膏取り										
4	制作										
5	制作										
6	素焼き										
7	本焼き										
8	講評 プレゼンテーション										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	20 %	40 %	0 %	0 %	40 %					
使用教材・教具											
履修場の注意	汚れてもよい格好が望ましい。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	陶芸家としてのキャリアをベースに指導をしていく。								

科目名	ジュエリー演習Ⅳ			分類	専門	形態	演習	単位数	1.5	開講期	3期
担当教員	武田 新	企業連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	3	曜日	木
授業内容	1～3年でやってきたことの集大成。周辺知識の強化。 制作プランを確実なものにして、しっかりしたプレゼンテーションが出来るようにする。(オーダー受注)										
到達目標	プロのクラフトマンとして自立出来る自信を身につける。										
	授業計画と内容										
1	ジュエリー自由制作										
2	// 3期全時間をかけて制作するに値する作品										
3	// (事前にプラン提示)										
4	// (金属作品に限り卒業制作と兼用可)										
5	//										
6	//										
7	//										
8	試験										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	60 %	0 %	10 %	30 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	彫刻・ジュエリー作家。文化財修復・復元の経験もあり、工房ショップを経営。								

科目名	スペースデザイン演習Ⅳ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	山本 治彦	企業連携	—	科属	IP	学年	3年	コマ数	2	曜日	水
授業内容	前半はワンデーエクササイズを中心にコンセプト作りからプレゼンテーションまでの作業をグループにて行う。他校との競争の中で自分たちを試したい。そしてその流れで卒業制作に連続させる。										
到達目標	わかりやすく、インパクトのあるプレゼンテーションで相手を納得させることができるようになる。そして自分の作品の良いところを率直に顧みることができる。										
	授業計画と内容										
1	ワンデーエクササイズのコンセプト作り。										
2	エスキース										
3	エスキース										
4	作図・模型										
5	プレゼンテーション練習										
6	作品官製・発表・反省										
7	進級制作コンセプト再考										
8	エスキース（プレゼンボード・模型の予想）										
9	エスキースの完成										
10	作図・制作										
11	作図・制作										
12	作図・制作										
13	プレゼンテーションの目玉を考える										
14	プレゼンテーション										
15	修正										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	20 %	20 %	50 %	0 %	10 %	0 %					
使用教材・教具	製図道具・模型製作用具 etc										
履修場の注意	ワンデーエクササイズは自分の作品としての意識を常にとって取り組んでほしい。誰かがやるというのではだめ。私がやるんだ決めるんだという気概で行ってほしいと思います。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	アトリエ系建築設計事務所勤務の後一級建築士事務所主宰。住宅を中心に設計活動。								

科目名	ゼミⅣ			分類	実習（応用）	形態	実習	単位数	1.5	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	○	科略	IP	学生	3 年	コマ数	3	曜日	金
授業内容	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ等の学外イベントへの参加および卒業制作対応										
到達目標	課題発見力、情報収集力、表現力、人に伝えるために情報を整理する力などを総合的に身につけることを目標とする。										
	授業計画と内容										
1	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
2	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
3	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
4	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
5	デザインフェスタ対応										
6	デザインフェスタ対応										
7	デザインフェスタ対応										
8	デザインフェスタ対応										
9	球技大会										
10	卒業制作対応										
11	卒業制作対応										
12	卒業制作対応										
13	卒業制作対応										
14	卒業制作対応										
15	合評会作品搬入										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	60 %	0 %	20 %	20 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	卒業制作①			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	秋岡 昌彦	企業連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	身の回りのモノに関連した事柄についての課題を発見し、新しい生活スタイルやアイテムを提案する。制作の過程で主体的に他者と関わる姿勢、デザインやモノづくりのスキルを総合的に身につける。										
到達目標	各専攻分野に関する大作を作り、効果的にプレゼンテーションできるようになる。										
	授業計画と内容										
1	中間報告会を踏まえての修正点をまとめる										
2	個別相談										
3	個別相談										
4	個別相談										
5	試作、作図、材料手配など										
6	試作、作図、材料手配など										
7	試作、作図、材料手配など										
8	進捗状況をまとめ、4期の計画を立てる										
9	本制作										
10	球技大会										
11	本制作										
12	本制作										
13	本制作										
14	合評会										
15	制作展準備										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	40%	50%	0%	10%	0%					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具メーカー企画室社員や個人作家として、家具のデザインや制作に携った22年間の経験。								

科目名	卒業制作②			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	後期	
担当教員	中山 裕志		企業連携	—	科略	IP	学年	3年	コマ数	2	曜日	火
授業内容	3年間の集大成である卒業制作（個人制作）を行う。											
到達目標	情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。											
	授業計画と内容											
1	卒業制作エスキース											
2	卒業制作エスキース											
3	卒業制作エスキース											
4	卒業制作（平面・断面計画完了）											
5	卒業制作（スタディー模型制作完了）											
6	卒業制作（平面・断面 CAD 入力完了）											
7	卒業制作（プレゼンボードイメージ確定）											
8	卒業制作（模型イメージ確定）											
9	卒業制作（本制作）											
10	卒業制作（本制作）											
11	卒業制作（本制作）											
12	卒業制作（本制作）											
13	卒業制作（合評会準備）											
14	卒業制作（合評会準備）											
15	まとめ											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0%	0%	40%	0%	60%	0%						
使用教材・教具												
履修時の注意												
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて5年間の設計業務経験									

科目名	卒業制作②			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	4期
担当教員	村上 愛	企業連携	—	材料	IP	半年	3年	コマ数	4	曜日	火
授業内容	各自の計画したスケジュールに従って制作を進めます。										
到達目標	制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫することを忘れず制作に取り組むことができるようになる。										
	授業計画と内容										
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	制作過程報告 / 計画書提出										
10	作品制作										
11	作品制作										
12	作品制作										
13	作品制作										
14	作品制作										
15	合評会 搬入準備 プレゼン練習										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	0 %	0 %	50 %	50 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	卒業制作③			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	4期	
担当教員	坂田 圭		企業連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	4	曜日	木
授業内容	各自の計画したスケジュールに従って制作を進めます。											
到達目標	制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫することを忘れず制作に取り組むことができるようになる。											
	授業計画と内容											
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9	制作過程報告 / 計画書提出											
10	作品制作											
11	作品制作											
12	作品制作											
13	作品制作											
14	作品制作											
15	合評会 搬入準備 プレゼン練習											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	0 %	0 %	0 %	0 %	50 %	50 %						
使用教材・教具	基本的にこの実習授業中では制作を行い手を動かすこと。考えることはこの授業外で。											
履修時の注意												
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	グラフィックデザインや金属小物・アクセサリー製作業で自衛独立し 20 年の活動									

科目名	卒業制作③			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	—	材料	IP	半年	3 年	コマ数	2	曜日	木
授業内容	3 年間の集大成である卒業制作（個人制作）を行う。										
到達目標	情報収集力、決断力、計画性、イメージ力、問題解決力、自主性、行動力の大切さを理解することができる。										
	授業計画と内容										
1	卒業制作エスキース										
2	卒業制作エスキース										
3	卒業制作エスキース										
4	卒業制作（平面・断面計画完了）										
5	卒業制作（スタディー模型制作完了）										
6	卒業制作（平面・断面 CAD 入力完了）										
7	卒業制作（プレゼンボードイメージ確定）										
8	卒業制作（模型イメージ確定）										
9	卒業制作（本制作）										
10	卒業制作（本制作）										
11	卒業制作（本制作）										
12	卒業制作（本制作）										
13	卒業制作（合評会準備）										
14	卒業制作（合評会準備）										
15	まとめ										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	40 %	0 %	60 %	0 %					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて 5 年間の設計業務経験								

科目名	卒業制作④			分類	実習（応用）	形態	実習	単位数	1	開講期	4期
担当教員	牧野 雄理	企業連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	4	曜日	水
授業内容	各自の計画したスケジュールにしたがって制作を進める。										
到達目標	制作過程でのトラブルに柔軟に対応し、最後まで工夫する事を忘れずに制作に取り組む事ができるようになる。										
	授業計画と内容										
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	制作経過報告・計画書提出										
10	作品制作①										
11	作品制作②										
12	作品制作③										
13	作品制作④										
14	作品制作⑤										
15	合評会搬入準備・プレゼン練習										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	0 %	0 %	50 %	50 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	基本授業では制作を行ない手を動かす事。考える作業は授業外で。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要									

科目名	卒業制作⑤			分類	実践(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	4期
担当教員	秋岡 昌彦	企業連携	—	科目	IP	学年	3年	コマ数	4	曜日	月
授業内容	中間報告会での気づきをふまえ、各自で修正、詳細の計画、試作、本制作などをおこなう。										
到達目標	自分で取り組むべき課題が明確になり、学生時に制作した代表的作品として紹介する具体的なものができる。										
	授業計画と内容										
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9	本制作										
10	本制作										
11	本制作										
12	本制作										
13	本制作										
14	本制作										
15	制作展に向けての活動										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	10%	0%	0%	0%	50%	40%					
使用教材・教具											
履修場の注意	他の授業と連動して複数の教員で進行する。										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	家具メーカーで製品開発に携る経験を元に授業を実施する。								

科目名	都市計画			分類	専門	形態	講義	単位数	2	開講期	後期	
担当教員	中山 裕志		企業連携	—	科略	IP	学生	3年	コマ数	2	曜日	月
授業内容	建築計画に必要な不可欠な建築や都市の歴史および現況をフィールドワークで体験し、ワークショップ形式で都市の中の建築の在り方や望ましい姿について議論を交え講義する。											
到達目標	住まい・風土・歴史・環境・安全・形態・都市などのテーマについて、身近な都市や住環境の事例に触れながら、建築がどう都市に関わっていくべきなのかの知識の習得かつ幅広い考察力を養うことを目標とする。											
	授業計画と内容											
1	授業概要説明（都市計画概要）											
2	歴史的建築の時代背景と様式～建築様式の成立と変遷について～											
3	風土と建築～バナキュラー建築のなりたちについて～											
4	環境と建築～自然環境と建築の関わりについて～											
5	建築計画を俯瞰する～建築計画の意味と領域について～											
6	フィールドワーク①（岡山カルチャーゾーン）											
7	グループディスカッション①→プレゼンテーション①											
8	建築形態とイメージ～建築の多様な形態について～											
9	住まいの基本空間と歴史～住まいの原型と発展過程について～											
10	都市のかたちと変遷～都市の成立と歴史について～											
11	都市の空間密度と居住環境～都市と都市型住宅の空間特性について～											
12	都市の動態変化～都市と居住環境の変容について～											
13	フィールドワーク②（出石町界隈）											
14	グループディスカッション②→プレゼンテーション②											
15	筆記試験											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による					
100%	20 %	0 %	40 %	20 %	20 %	0 %						
使用教材・教具												
履修時の注意	2級建築士受験に関わる指定科目											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	建築設計事務所にて5年間の設計業務経験									

科目名	パースペクティブ②			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	後期
担当教員	内田 里美	企業連携	—	科略	IP	学年	3年	コマ数	2	曜日	月
授業内容	空間を表示する手法としての透視図法の理論を学びます。また、実際に建築図面から図法を使ったパースの描き方をマーカーや絵の具を使用して着彩の手法について学びます。										
到達目標	図面をもとに透視図を起こしたり、それに着彩してプレゼンテーション用のレンダリングを作成することができる。										
	授業計画と内容										
1	授業概要説明、透視図とは										
2	外観パースの図法による起こし方										
3	点景の描き方										
4	外観パースの着彩①										
5	外観パースの着彩②										
6	室内パースの透視図法による起こし方										
7	室内パースの着彩①										
8	室内パースの着彩②										
9	住宅の透視図法による起こし方										
10	住宅のパース着彩①										
11	住宅のパース着彩②										
12	商業ビルの透視図法による起こし方										
13	商業ビルのパース着彩①										
14	商業ビルのパース着彩②										
15	商業ビルのパース着彩③										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0 %	0 %	80 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意	2級建築士受験に関わる指定科目										
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	岡山県内の企業にて住宅に関わる設計・打ち合わせ等の経験を活かします。								

科目名	プレゼンテーションⅢ			分類	専門	形態	演習	単位数	3	開講期	後期
担当教員	藤原 敏嗣	企業連携	—	経路	IP	学卒	3年	コマ数	3	曜日	火
授業内容	Illustrator・Photoshop を使用してのデザインデータ制作・印刷用データの制作										
到達目標	Illustrator・Photoshop のパネル・フライヤー等の DTP 制作とプレゼンテーション力を修得し、卒業制作のプレゼンテーションボードが制作 [A0 サイズ] できるようになる										
	授業計画と内容										
1	Illustrator・Photoshop のデザイン演習										
2	↓										
3	↓										
4	↓										
5	↓										
6	↓										
7	↓										
8	卒業制作プレゼンボード・説明パネル等のデザインプランニング										
9	卒業制作プレゼンテーションボード制作										
10	↓										
11	↓										
12	↓										
13	入稿データ制作・制作発表プレゼンテーションプランニング										
14	プレゼンテーション実習										
15	作品展示用補足ボード・資料等の制作										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	0%	20%	30%	0%	30%	20%					
使用教材・教具	各自のラップトップを使用、マウス必須（ラップトップ・マウス・電源アダプター等は必ず持参すること）										
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	プロダクトから WEB まで 15 年以上の国内外ブランドのデザイン経験								

科目名	プロダクト展示Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	3期
担当教員	村上 愛・秋岡 昌彦	企業連携	—	経路	IP	半年	3年	コマ数	4	曜日	火
授業内容	プロダクト販売と連動し、展示効果や搬出入のことなどを考慮して、ディスプレイの設計・制作をする。										
到達目標	グループの中で自分の力を活かす工夫が出来るようになる。										
	授業計画と内容										
1	会計資料作成①（個人用）、販売グッズ制作②、ディスプレイ制作②										
2	販売グッズ制作④、ディスプレイ制作④										
3	販売グッズ修正②、ディスプレイ修正②										
4	販売グッズ修正④、ディスプレイ修正④										
5	13：10～デザフェス最終確認、荷造り										
6	デザインフェスタ										
7	会計資料作成③（伝票書類練習「見積書・納品書・請求書」、返金作業）、報告会準備										
8	技法研究1										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	50%	10%	30%	0%	10%	0%					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	プロダクト販売Ⅱ			分類	専門	形態	演習	単位数	2	開講期	3期
担当教員	村上 愛・三島 奈津希	企業連携	—	経路	IP	学年	3年	コマ数	4	曜日	水
授業内容	チームで協力し、作品を向上させるアイテムの制作。会計資料作成から資金面の流れを学ぶ。販売マナーを学ぶ。										
到達目標	役割を経験し、完成度の高い展示会ができるようになる。コミュニケーション能力を高めることができる。										
	授業計画と内容										
1	写真撮影、販売グッズ制作①、ディスプレイ制作①、取説案提出・名刺案提出・ユニフォーム案提出・パッケージサンプル案提出										
2	販売グッズ制作③、ディスプレイ制作③										
3	10：30～展示販売シミュレーション・作品説明、販売グッズ修正①、ディスプレイ修正①										
4	接客指導、販売グッズ修正③、ディスプレイ修正③										
5	販売グッズ修正⑤、ディスプレイ修正⑤										
6	会計資料作成②（個人用計算、収支報告書）、報告会準備										
7	10：30～デザフェス報告会、報告書（会社用、個人用ファイル）提出										
8	技法研究2、技法研究3										
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15	0										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	50%	10%	30%	0%	10%	0%					
使用教材・教具											
履修場の注意											
実務経験のある教員による授業科目	○	実務経験概要	店舗ディスプレイのデザインの仕事を10年経験。作家として展示会やワークショップの経験がある。								

科目名	ライフデザイン⑥			分類	実習(応用)	形態	実習	単位数	1	開講期	後期
担当教員	中山 裕志	企業連携	○	科略	IP	学年	3年	コマ数	2	曜日	金
授業内容	担任やクラスメイトとの情報交換、面談を通じて、各自の目標に向かった学生生活を送れるよう計画、振り返りをする。										
到達目標	企画力、計画性、協調性、グループワーク能力を高め、社会に適応する力を身につける。										
	授業計画と内容										
1	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
2	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
3	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
4	ワンデーエクササイズ、デザインフェスタ対応										
5	デザインフェスタ対応										
6	デザインフェスタ対応										
7	デザインフェスタ対応										
8	デザインフェスタ対応										
9	球技大会										
10	卒業制作対応										
11	卒業制作対応										
12	卒業制作対応										
13	卒業制作対応										
14	卒業制作対応										
15	合評会										
評価項目と割合	グループワーク	プレゼンテーション	提出課題	筆記試験	出席率	その他	成績評価基準は指標の算出方法による				
100%	60 %	0 %	20 %	0 %	20 %	0 %					
使用教材・教具											
履修時の注意											
実務経験のある教員による授業科目	—	実務経験概要	—								